～ひと・自然・歴史文化をつなぐ　緑の交流空間・卯辰山～

卯辰山公園開園１００年魅力向上計画

平成 26 年 3 月

金　沢　市

卯辰山公園開園100年魅力向上計画

目　次

１．はじめに　…… 1
1-1　計画策定の主旨　…… 1
1-2　計画のエリア　…… 1

２．卯辰山公園及び周辺地域の現況　…… 2
2-1　位置及び地勢　…… 2
2-2　歴史的変遷　…… 3
2-3　自然及び景観特性　…… 5
2-4　土地利用特性　…… 6
2-5　交通特性　…… 7
2-6　法制度に基づく地域指定状況　…… 8
2-7　園内利用状況　…… 9

３．上位計画・関連事業等の整理　……10
3-1　上位計画 …… 10
3-2　関連事業等　……11

４．卯辰山公園利用者アンケート調査　……12

５．課題の整理　……14

６．基本構想　……18
6-1　目指すべき方向性　……18
6-2　基本理念と基本方針　……19

７．基本計画　……21
7-1　基本ゾーニング　……21
7-2　基本計画の体系　……23
7-3　施策の方向性と施策展開　……24
7-4　事業スケジュールの検討　……44

おわりに

資料集

1. はじめに

1-1 計画策定の主旨

卯辰山公園が大正３年（1914 年）に本市初の公園として開園されてから、平成 26 年（2014 年）で 100 周年を迎えます。一方、本市では、平成 27 年（2015 年）3 月に北陸新幹線の金沢開業を控え、国内外からの誘客が一層期待される、まさに「大交流の時代」を迎えようとしています。また、本市は、新たな都市像として、「世界の交流拠点都市」を掲げ、国内外から人・モノ・情報の集積を図り、その交流を通じた新たな価値の創造と持続的な発展を続けるまちを目指しています。

こうした背景から、卯辰山公園には、「自然」と「歴史文化」という普遍的価値を踏まえた多様な交流の場としての役割が求められています。

そこで、本計画は、これからも市民に愛され、市民の誇りとして、より一層利活用されるよう、今後 10 年を見据えた卯辰山公園の魅力向上を図る基本的な考え方とハード・ソフト両面からの施策の方向性を取りまとめることを目的とします。

1-2 計画のエリア

本計画では、下図に示す約 100ha の公園区域を対象としますが、ひがし茶屋街、卯辰山山麓寺院群、浅野川、奥卯辰山健民公園など、周辺地域との連携も考慮した計画とします。

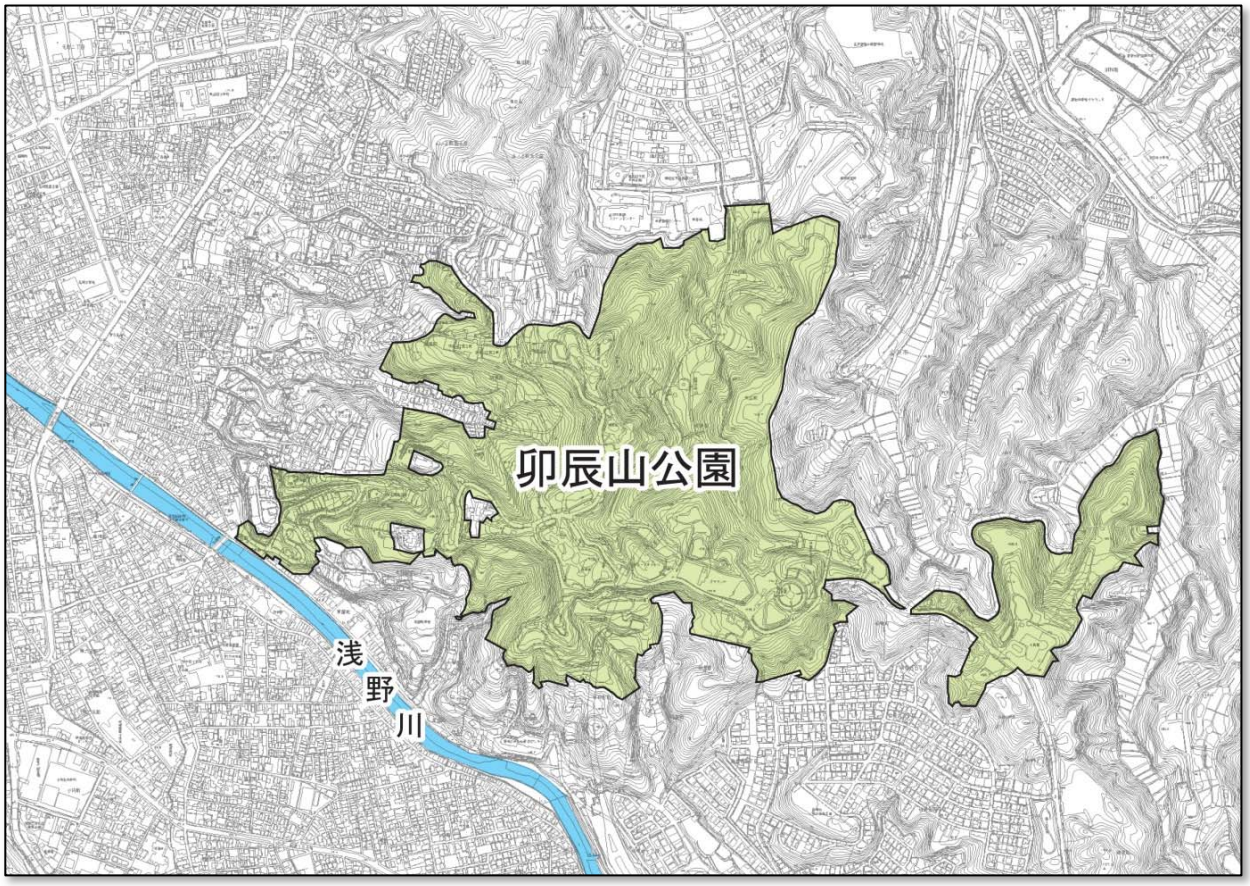


図1 計画対象エリア

2. 卯辰山公園及び周辺地域の現況

2-1　位置及び地勢

（資料1参照）

・卯辰山公園は、金沢城からみて東側に位置し、浅野川右岸の卯辰山山麓に広がる市街地に隣接した緑豊かな総合公園です。麓には旧市街地や卯辰山麓重要伝統的建造物群保存地区、東山ひがし重要伝統的建造物群保存地区等があり、その山容は後背緑地として景観形成に重要な役割を果たしています。

・山頂の月見台には、国土地理院の二等三角点があり、標高 141.15m、市街地とは、60～80m程度の高低差があります。公園内は、東西方向に１本の尾根、南北方向に２本の尾根が並走し、まさに臥竜（がりゅう）のごとき入り組んだ地形となっています。

主計町重要伝統的建造物群保存地区

東山ひがし重要伝統的建造物群保存地区

卯辰山麓重要伝統的建造物群保存地区

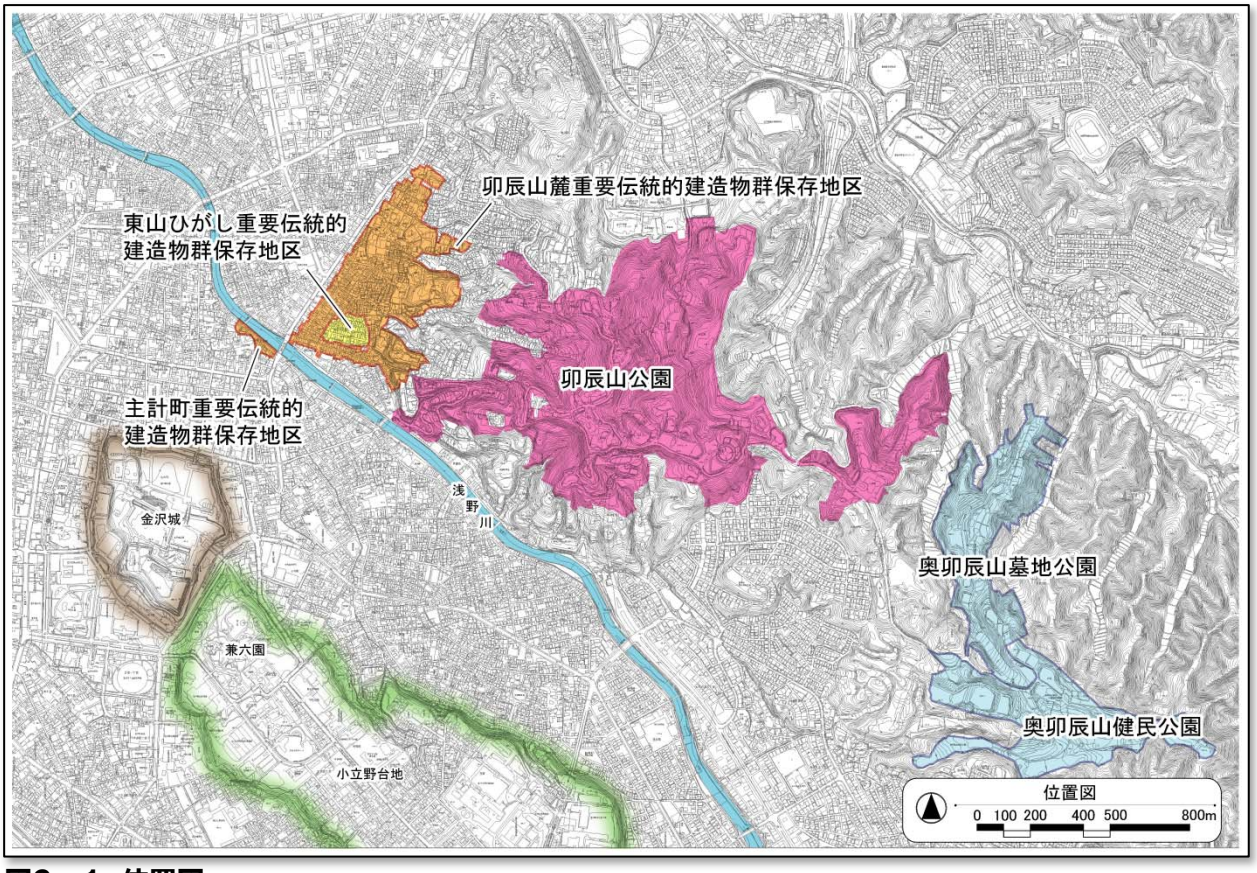


図2－1　位置図

2-2 歴史的変遷 （資料2～5参照）

（藩政期）

卯辰山一帯は城下を見下ろす位置関係を理由に藩が警戒を厳しくしていた場所であり、幔幕を張ることや鉄砲を放つことを禁じていたことが知られています。しかし、当時においても、花見、紅葉や月見の名所として有名で、藩末にはキノコ狩り、寺社参拝、蓮如忌の酒宴など大衆の娯楽の場として定着していました。

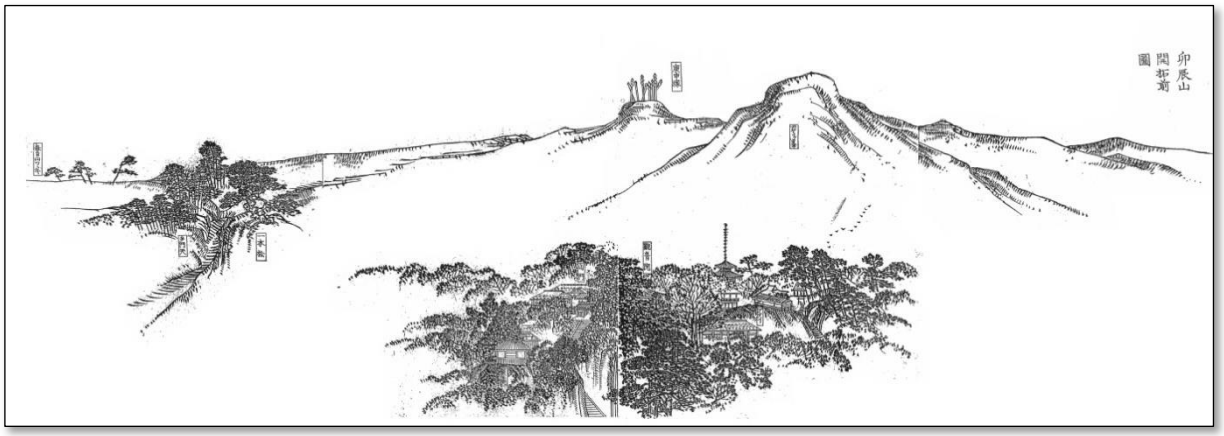


図2－2 卯辰山頂上部の様子 出典：「卯辰山開拓前図」卯辰山開拓録

（藩政末期）…開園前

加賀藩 14 代藩主慶寧（よしやす）により慶応 3 年（1867 年）から明治元年（1868 年）にかけて初めての大規模な開拓事業が行われました。この事業は、当時の西洋の医療や福祉制度の導入を計画したものであり、養生所（医療施設）、撫育所（福祉施設）、所作所（作業所）が設置されました。「卯辰山開拓録」（内藤誠斎著）によれば、山麓各所に陶器、漆器、鍛冶などの工房群が建てられ、芝居小屋、料理店、風呂屋などの娯楽施設も備えられており、併せて、これらの施設は一般に広く開放されたため、一帯は大いに賑わったと伝えられています。この開拓事業は明治維新により頓挫し、山上は跡地として寂れた状態となりました。しかし、山上からの眺望が良いため、春秋の行楽期には遊山のため入山する人々も多かったと言われています。

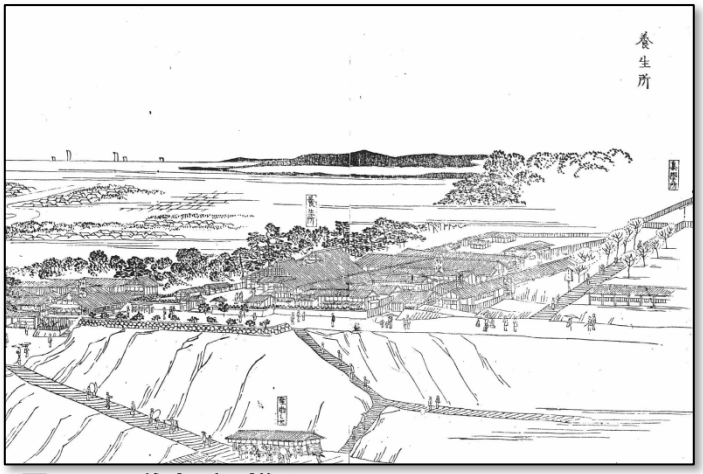


図2－3 養生所の様子

養生所

貧民を病苦から救うためにと藩主の命により慶応 3 年 6 月 11 日卯辰山開拓と同時に新築にとりかかり 10 月に完成しました。町民は殿さまのご仁徳に感謝し町方と一緒にこの事業に協力、毎日数千人の人で賑わいました。

出典：「養生所」卯辰山開拓録

（明治～大正）…開園時

明治維新を迎えて多くの施設は廃止されることになりましたが、一般大衆の憩いの場としての整備は引き続き行われました。明治 6 年(1873 年)、山頂付近 6.6ha が墓地に指定され、同 13 年(1880 年）には、28ha 余が市街地（当時は金沢区）に編入されました。明治 35 年（1902 年）には、荒廃していた卯辰山に風致林を設置することが決定され、5 ヵ年計画でマツ、スギ、イチョウ、ヒノキ、クヌギなど 16 万本を植える事業が実施されました。

明治 42 年（1909 年）、金沢市は卯辰山を公園として整備する卯辰山遊園地造成計画を策定し、墓地の整理等を進め、大正 3 年（1914 年）、卯辰山公園としての利用に供しました。また、大正 5 年（1916 年）には、幅員 4.6m 延長 700m の卯辰山記念道路（天神橋～山頂付近）が開通し、山頂には公設運動場を整備しました。

（昭和～現在）

昭和に入ると、卯辰山は、公園とは別に兼六園の借景や都市の近郊緑地として、自然風致を維持するために重要な役割を担い、昭和 12 年（1937 年）、卯辰山一帯は、都市計画法（旧法）による風致地区制度に基づく県内第 1 号に指定されました。

また、金沢市の事業によりスキー場の建設、遊歩道、ドライブウェイの整備など、施設の充実が図られました。

昭和 33 年（1958 年）山頂付近に民間開発により劇場、レストラン、浴場、宿泊施設等を設けた金沢ヘルスセンターが建設され、県内唯一の動物園、水族館もでき、平成 6 年（1994 年）、動物園が石川県に引き継がれるまで長く市民に親しまれました。

しかしながら、官民それぞれで様々な施設が整備されたものの、レクリエーションの多様化等により、次第に卯辰山の利用者離れが進み、各施設は廃止となり、跡地は緑地や広場等として再整備され、現在に至っています。

参考文献

・金沢市『金沢市史　資料編１７　建築・建設』　1998

・金沢市『金沢の文化的景観　城下町の伝統と文化　保存調査報告書』　2009

2-3 自然及び景観特性

（資料6参照）

・山頂部はアカマツ植林、北部斜面はコナラ群落、西斜面はケヤキ群落、浅野川右岸沿いの南斜面はモウソウチク林となっています。モウソウチク林は、特に都市公園区域よりも外側の南側斜面での繁殖が著しい状況となっており、斜面緑地の保全上影響が大きく、また、豊かな生態系の維持において、大きな課題となっています。

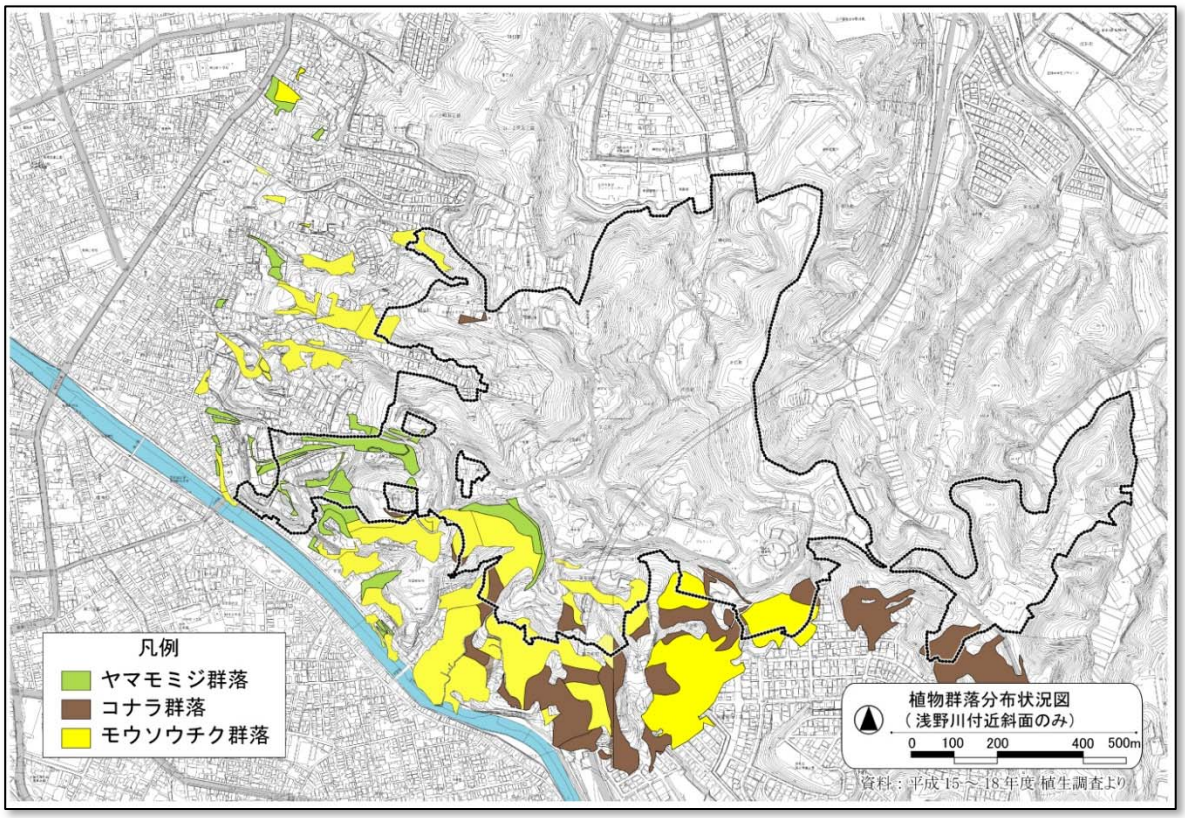


図2－4 植物群落分布状況図

・市街地のいたるところから山並みを眺望することができ、落ち着きと風格のある歴史的市街地の背景となる重要なシンボル景観と捉えられています。

兼六園より卯辰山を望む

（卯辰山の山並みの赤囲み部分が主にモウソウチク林）

・市街地や日本海を一望できる優れた眺望スポットであるものの、斜面から生える樹木が視界を遮るように高く生長しており、長期的視点から眺望景観の確保・維持に配慮した森林育成・管理計画のもとに維持管理していくことが課題となっています。

見晴らし台より市街地を望む
（成長した樹木により視界が遮られている）

2-4 土地利用特性

（資料7参照）

・卯辰山三社をはじめ、石碑群等の歴史文化資源、卯辰山工芸工房、卯辰山健康交流センター千寿閣、金沢ユースホステル等の交流・宿泊施設等が立地しています。

・卯辰山麓重要伝統的建造物群保存地区、東山ひがし重要伝統的建造物群保存地区等が隣接しており、その後背となる緑地としての景観形成や卯辰山公園との連携が課題となっています。

・展望広場や運動施設、草花園等、多様な公園施設が数多く点在していますが、施設の老朽化や維持管理コストの増加等が課題となっています。

卯辰山三社

卯辰山工芸工房

卯辰山公園健康交流センター

石碑

浅野川・天神橋

金沢ユースホステル

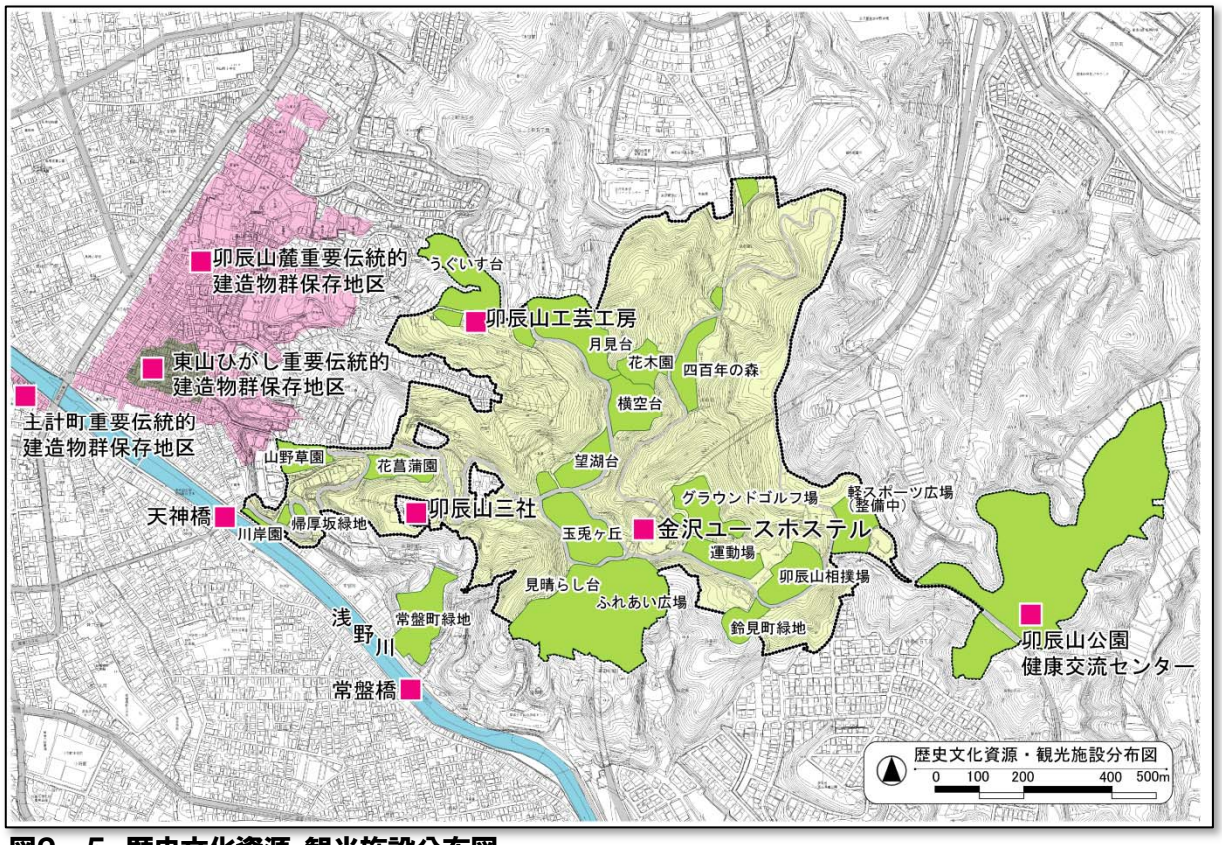


図2－5 歴史文化資源･観光施設分布図

2-5 交通特性 （資料8参照）

・天神橋、山の上、鈴見台、東長江の４方面からのアクセス道路があるものの、カーブや急勾配が多く、安全性や快適性に課題があります。

・歩道は、千寿閣から望湖台に至る山頂沿いには連続した歩道が整備されているものの、幅員が狭い箇所も多く、麓から山頂に至るまでの道路には歩道は整備されていません。

・駐車場は 11 箇所で 336 台、公衆便所は 8 箇所が整備されています。

・バス交通は金沢駅と千寿閣を起終点に公園内を経由する路線と公園内を経由せず鈴見台を経由する路線が運行しており、平日で延べ 11～12 往復、休日で延べ 8 往復しているものの、乗降客数はＩＣａ（アイカ、ＩＣカード方式による乗車カード）での利用実績で 1 日あたり 50 人未満となっており、全て千寿閣バス停の乗降となっています。

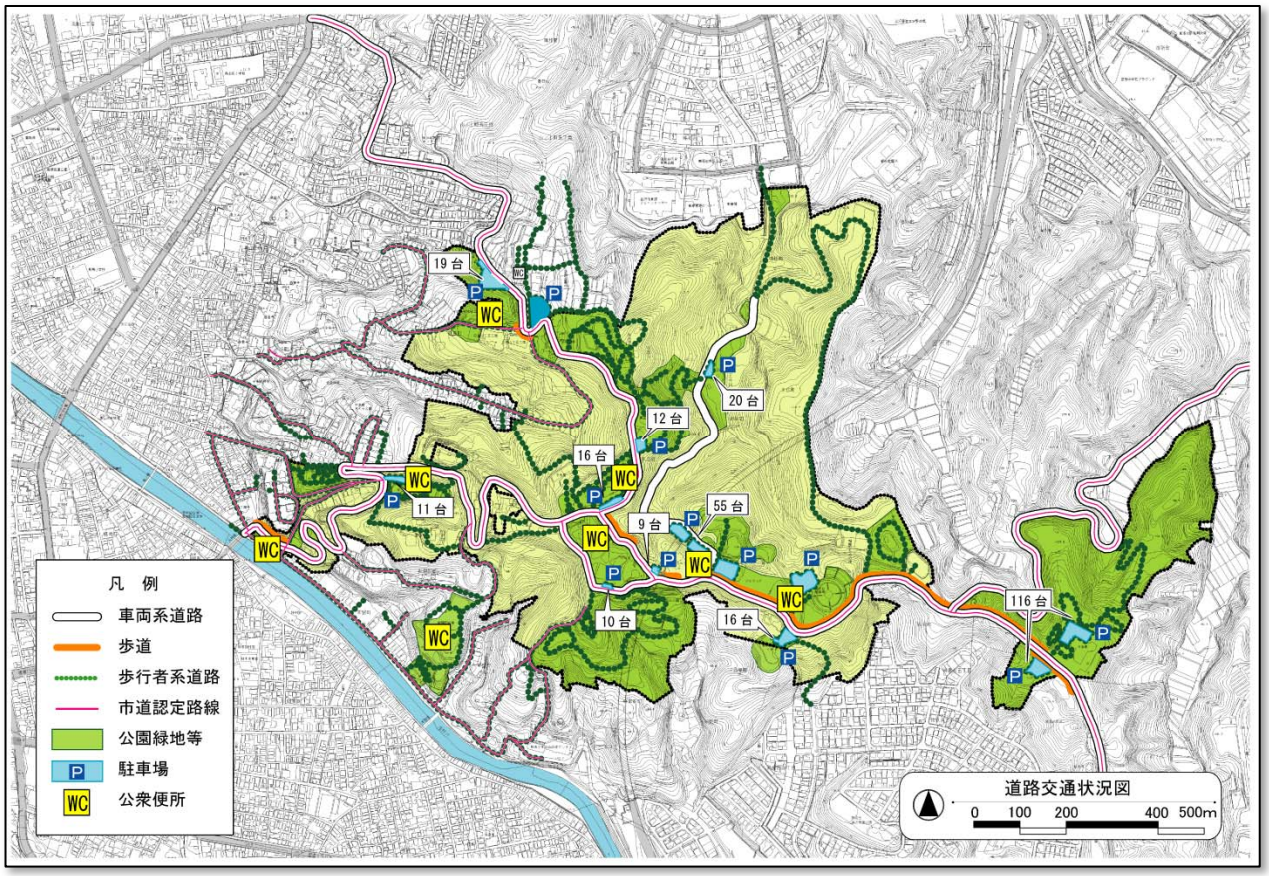


図2－6 道路交通状況図

2-6 法制度に基づく地域指定状況

（資料9～13参照）

・卯辰山が有する豊かな自然と貴重な動植物の生息・生育環境を保全するため、風致地区、斜面緑地保全区域、重要文化的景観選定区域、鳥獣保護区域に指定されています。

・市街地に隣接した傾斜地であることから、砂防指定地、地すべり防止区域、急傾斜地崩壊危険区域に指定されています。

区分	項目	概要
景観関連	風致地区	・卯辰山公園全域が風致地区に指定されています。
	斜面緑地保全区域	・卯辰山公園の大部分が風致地区（第１種）、その他が風致地区（第２～５種）該当地となっています。
	用途地域	・卯辰山公園全域には用途地域指定はなく、周辺では東側は第一種中高層住居専用地域となっています。
	重要文化的景観選定区域	・卯辰山公園では、健康交流センター周辺部を除いた区域が重要文化的景観選定区域となっています。
	石川県鳥獣保護区域	・卯辰山公園を含む周辺の森林地帯が鳥獣保護区域となっています。
防災関連	砂防指定地	・卯辰山公園内では、四百年の森の東側、望湖台から少し離れた西側等が指定されています。
	地すべり防止区域	・卯辰山公園内では、望湖台から少し離れた西側等が指定されています。
	急傾斜地崩壊危険区域	・卯辰山公園内では概ね区域指定はないものの、園外では浅野川右岸の斜面等が指定されています。

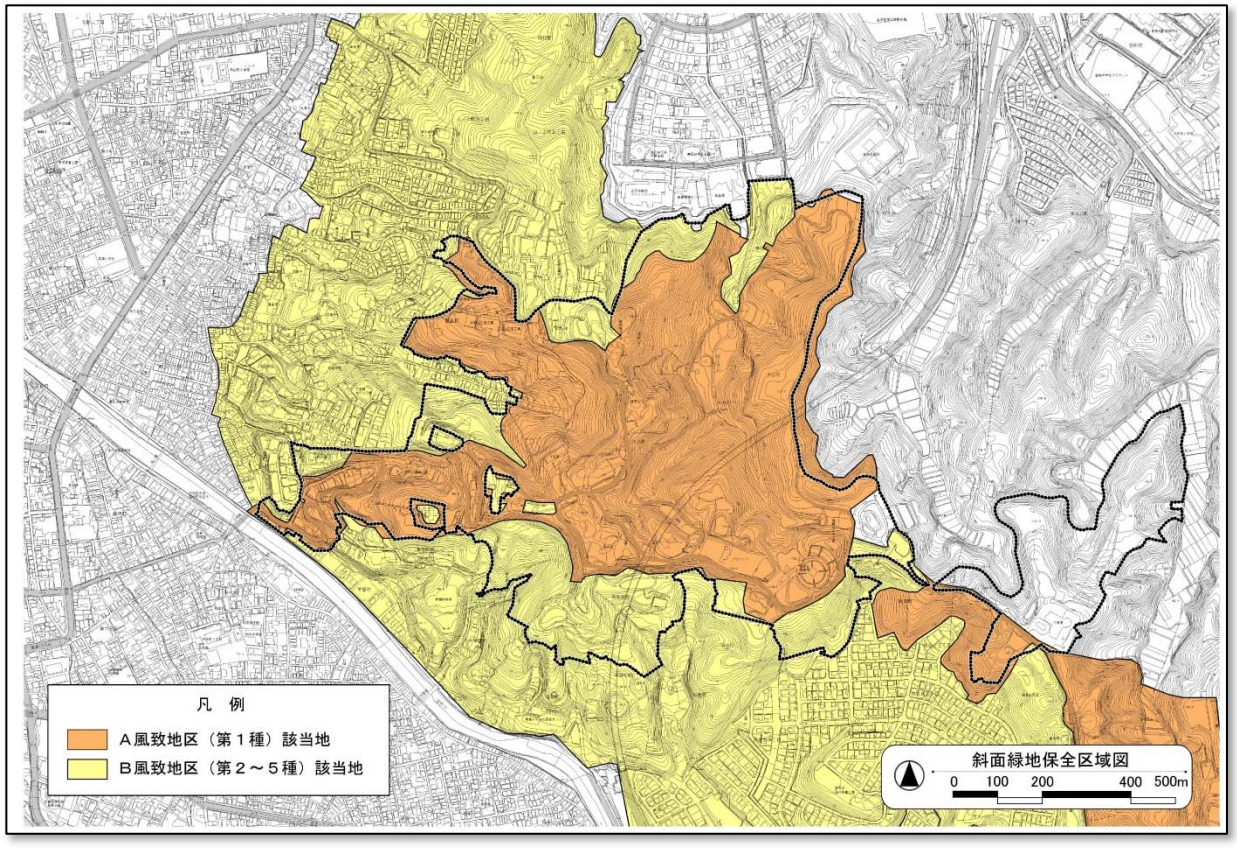
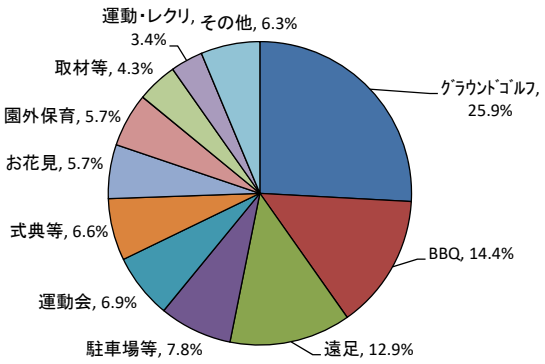


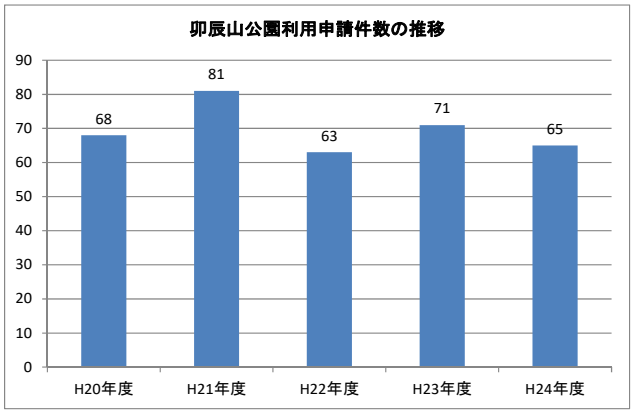
図2－7 斜面緑地保全区域図

2-7 園内利用状況

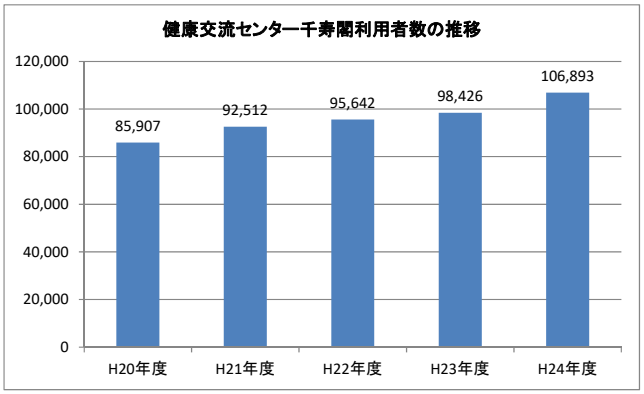
・桜の花見シーズン及び花菖蒲園の花菖蒲やアジサイが咲く 6 月中旬から 7 月中旬の見物客が多い状況となっています。

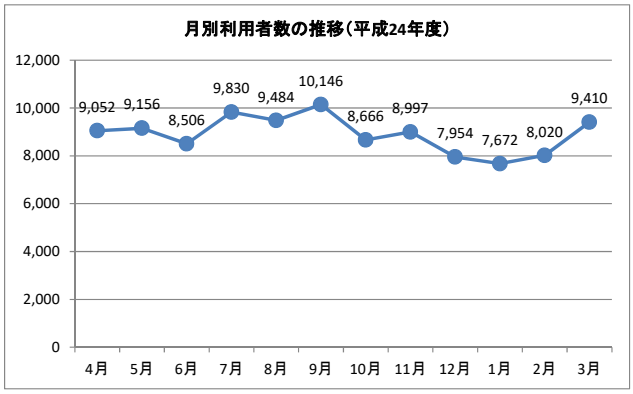
・利用申請は年間 70 件程度で推移し、目的は「グラウンドゴルフ」が 25.9%と最も多く、次いで「ＢＢＱ」が 14.4%となっています。



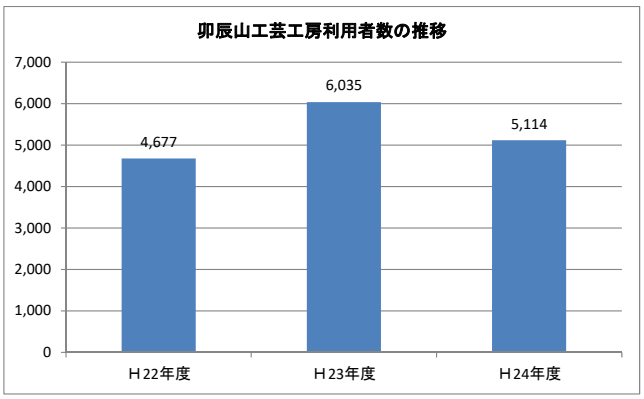


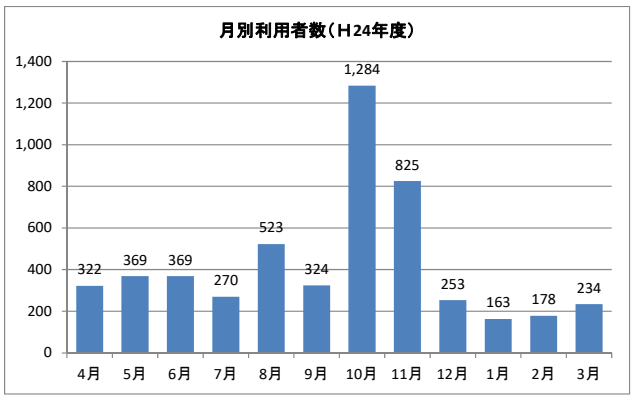
・千寿閣の利用者数は年々増加傾向にあり、平成 24 年で年間 10 万人を超えています。月別の変動が比較的少なく、ほとんどが高齢者の利用となっています。





・卯辰山工芸工房の利用者数は、過去 3 年間で年間 5～6,000 人程度で推移しており、月別では紅葉時期に併せてイベント開催がある 10 月、11 月が多い状況となっています。





3. 上位計画・関連事業等の整理

3-1 上位計画

本計画を策定するにあたり、上位計画の目標・理念における卯辰山公園関連事項は以下のとおりです。

世界の「交流拠点都市金沢」をめざして （平成 25 年 3 月）	■都市像 「世界の『交流拠点都市金沢』の実現」 〔卯辰山公園関連〕 ・自然景観と歴史的建造物等が一体となった「伝統環境保存区域」を指定し、品格のあるまちづくりを進めるとしていています。
金沢市都市計画マスタープラン （平成 21 年 10 月）	■都市づくりの基本的テーマ 「市民とともに、金沢らしさを守り育て、持続可能なまちづくりを進めることにより、世界の中で独特の輝きを放つ『世界都市金沢』の実現」 〔卯辰山公園関連〕 ・卯辰山は、都市づくりの骨格となる都市構造「都市を包む水と緑の環境」において、都市環境軸やレクリエーション拠点として位置づけられています。 ・城北地域では、「卯辰山山麓に抱かれた伝統的なまちなみと近代的なまちなみが調和するまち」をまちづくりのテーマに掲げ、ひがし茶屋街や卯辰山山麓寺院群等の歴史文化遺産の保全と卯辰山、浅野川のうるおいのある環境の保全を図ることとしています。
金沢市景観計画 （平成 21 年 7 月）	■景観目標像 「風格と魅力を兼ね備えた美しい世界都市・金沢」 〔卯辰山公園関連〕 ・景観法に基づく法定計画「金沢市景観計画」では、「伝統環境保存区域（遠望風致区域）」に、市独自条例に基づく「斜面緑地保全区域」に指定しています。 ・卯辰山地区の景観形成方針としては、卯辰山丘陵の斜面緑地を保全し、豊かな自然環境を背景とした多様な動植物の生息・生育環境の保全・継承や旧市街地と一体となった文化的景観として守り育てながら、自然環境と共生した良好な歴史的風致景観の形成を図ることとしています。
金沢市環境基本計画 （平成 21 年 3 月）	■基本理念 「持続可能な都市『金沢』をつくる」 〔卯辰山公園関連〕 ・公園・緑地の整備、緑化の推進、卯辰山から見渡せる市街地の景観の保全を図ることとしています。
金沢市緑の基本計画 （平成 21 年 3 月）	■基本理念 「ひと・まち・文化・歴史が織りなす　緑あふれる都市づくり」 〔卯辰山公園関連〕 ・代表的な都市公園として位置づけられ、斜面緑地の保全と活用を図ることとしています。

3－2　関連事業等

（資料14～16参照）

本計画を策定するにあたり、関連する事業等は以下のとおりです。

卯辰山都市公園事業	○都市公園指定区域 93ha に対し、開設面積が 67.3ha（72.4%）となっている。
卯辰山公園桜ロード創出事業	○小坂神社から千寿閣まで、沿道から確認できる桜の木を対象に良好な並木形成にむけた維持管理を図っている。
卯辰山公園モミジの林創出事業	○卯辰山公園内の竹林等を伐採するとともに、モミジの植栽を行い、維持管理を図っている。
卯辰山公園再整備基本構想 **（平成 12 年 3 月）**	○金沢卯辰山『市民の森づくり』構想をテーマに、森に学び、森を愛で、森と語り、森と共生など、市民と自然との望ましい関わり方や新しい森づくりの思想を市民参加のもと推進することを目指している。

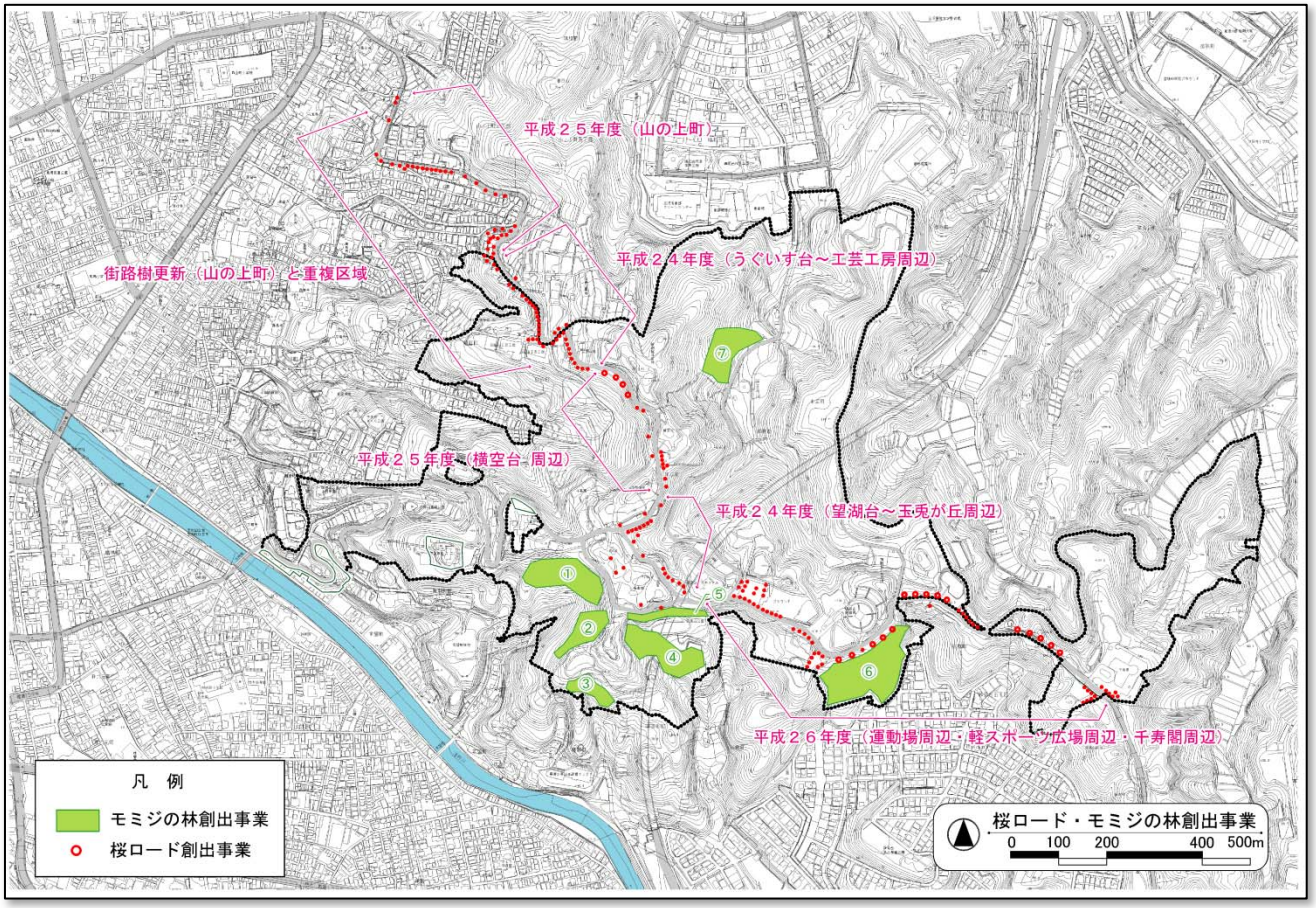


図3－1　桜ロード・モミジの林創出事業

4. 卯辰山公園利用者アンケート調査

卯辰山公園の利用者を対象にアンケート調査を行い、公園の利用状況や問題点、望まれる公園像に関する意向をお聞きしました。

(1)調査概要

対 象 者：卯辰山公園の利用者
回答方法：調査票による聞き取り及び留め置き方式
調査場所：聞き取り調査…卯辰山公園内
　　留め置き調査…卯辰山工芸工房、健康交流センター千寿閣
調査期間：聞取り調査 9 月 21 日（土）、10 月 1 日（火）
　　留め置き調査 9 月 21～30 日
回 答 数：４０３件

(2)集計結果

■回答者の属性

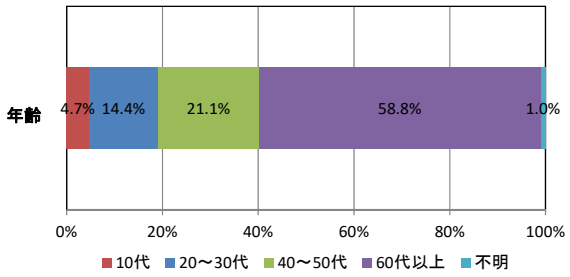
・性別では「男性」56.1%、「女性」43.2%。年齢別では「60 歳代以上」が 58.8%を占めています。

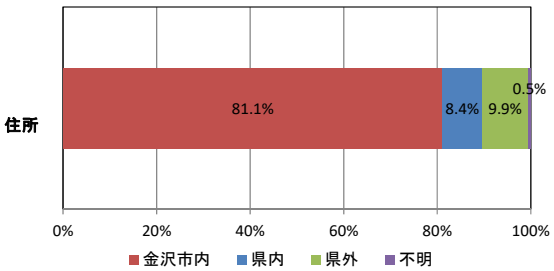
・住所では金沢市が 81.1%を占め、同伴者は「ひとり」が 44.9%と最も多く、次いで「家族」が 14.4%となっています。

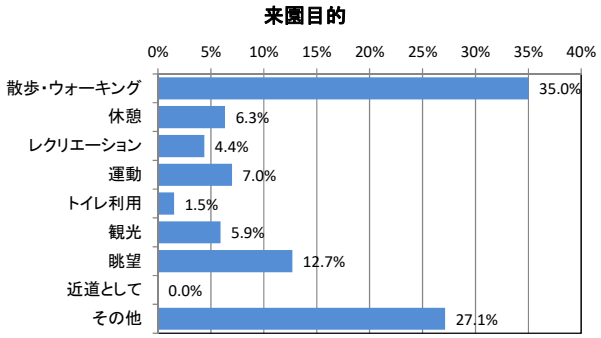
・交通手段は「マイカー」が 57.6%と最も多く、次いで「徒歩」が 31.3%となっています。

・来園頻度は「週に何度か」が 26.6%と最も多く、次いで毎日」が 21.1%となっています。

・来園目的は「散歩・ウォーキング」が 35.0%と最も多く、次いで「その他」が 27.1%、「眺望」が 12.7%となっています。「その他」は、パソコン教室、風呂等千寿閣での利用の記述が主なものでした。

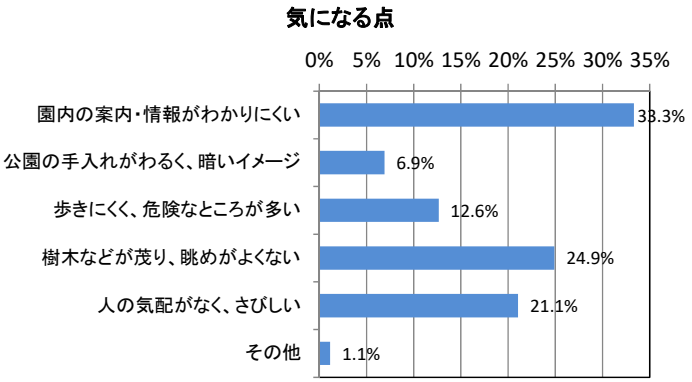






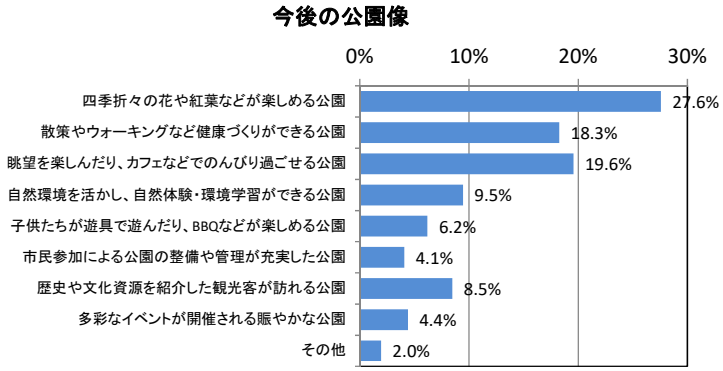
■問題点

・卯辰山公園の気になる点では、「園内の案内・情報がわかりにくい」が 33.3%と最も多く、次いで「樹木などが茂り、眺めがよくない」が 24.9%、「人の気配がなく、さびしい」が 21.1%となっています。



■今後の公園像

・卯辰山公園に今後どのような公園像を望むかについては、「四季折々の花や紅葉などが楽しめる公園」が 27.6%と最も多く、次いで「眺望を楽しんだり、カフェなどでのんびり過ごせる公園」が 19.6%、「散策やウォーキングなど健康づくりができる公園」が 18.3%となっています。



■課題となるキーワード：自由回答より

（問題点）

道路の案内がわかりにくい、雑木により眺望が見えない、バスの本数が少ない・増やしてほしい、日が暮れるとこわい、電灯が少ない、歩道の草刈り、歩道が滑ってあぶない、道路脇の樹木伐採、マナーが悪い、駐車場が少ない・位置がわかりづらい・案内が少ない、展望台から見晴らしが良くない等

（提　案）

雑木を切って見通し・景観を良くする、切るべき木と残すべき木を見極める、そのままの自然を残す、夜桜（ライトアップ）、車いすが通れるようにバリアフリー化、歴史的に価値のある神社の整備、洋式トイレ、鳴和台からも車が通れるように、ドッグラン、展示等できたり・お茶が飲めるところ、休憩ポイント、ジョギングコースの創設、子供の声が聞こえる公園・子供が楽しめる公園、循環バス、バスを増やす、森林浴ができるところ、公衆トイレのマップ等

5. 課題の整理

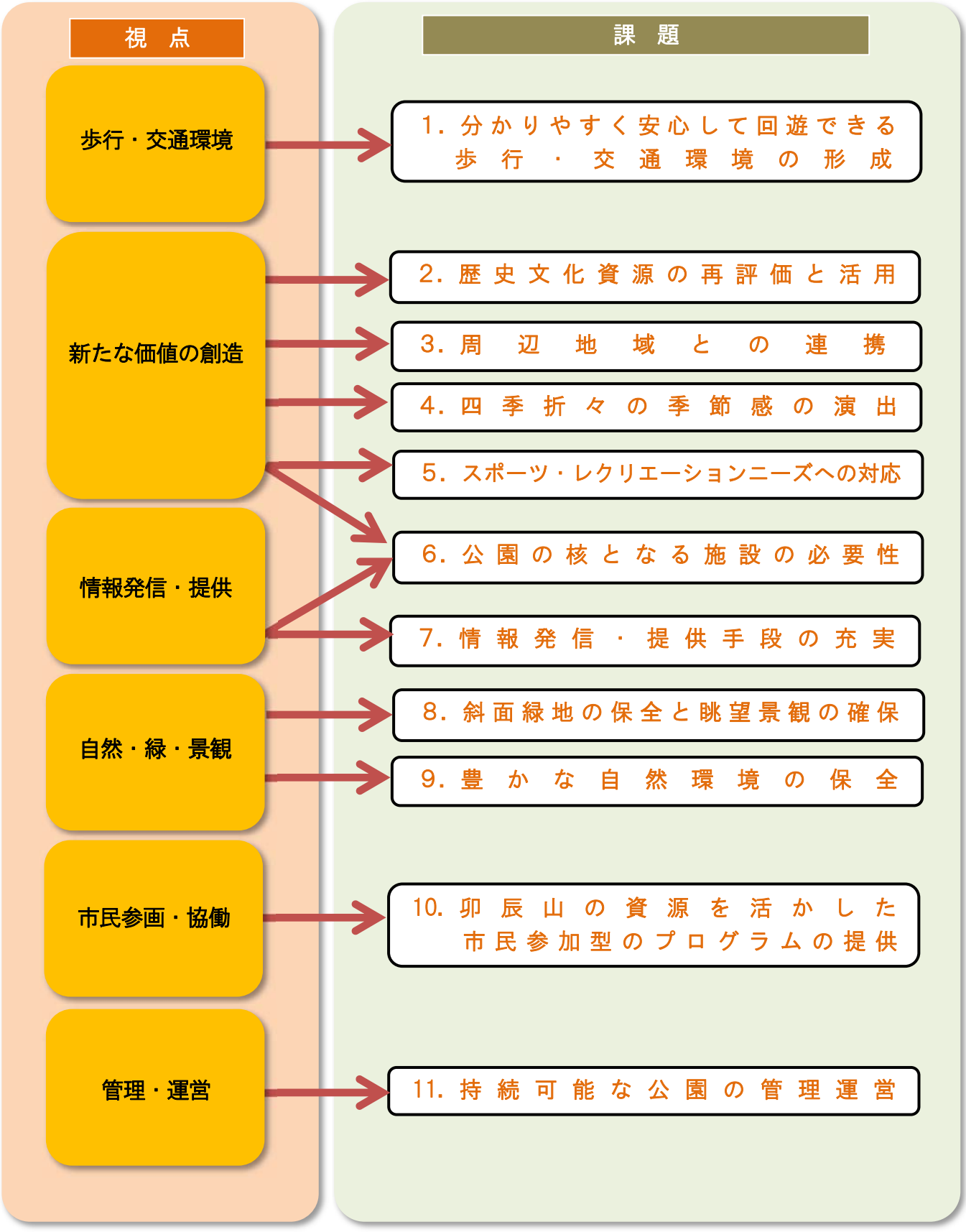
（１）課題となるキーワード

現況及び上位計画・関連事業、利用者アンケート調査などから、課題となるキーワードを抽出・整理すると以下のとおりとなります。

視点	課題となるキーワード
歩行・交通環境	回遊性、コース設定、ファミリー用、高齢者用、歴史のみち、細かい道の連携、カーブ、急勾配、歩道の草刈、電灯、バリアフリー化、滑る、歩道整備
	距離、運動量、時間、目印、細かい道の入口、階段部のバイパス、案内がわかりづらい・少ない、位置がわかりづらい、わかりやすさ
	移動手段、一方通行、分散型の駐車場、体育館駐車場の活用、４つのアクセス道路、バス交通、鳴和台からのアクセス路、駐車場少ない
新たな価値の創造	歴史・文学・自然の物語、卯辰山三社、石碑群、神社、信仰の歴史、ひと・まち・文化・歴史、工芸工房、千寿閣、卯辰山の利用者離れ
	ひがし茶屋街、卯辰山山麓寺院群、周辺地域とのインターフェイス
	物見遊山、人の流れのシーズン性、桜の木、紅葉、花鳥風月、月見の場、夜桜（ライトアップ）、花菖蒲、アジサイ、桜の花見、桜並木、紅葉の植栽、季節感、江戸期の延長のような世界観
	スポーツ、ウォーキングラリー、ファミリー層、週末レクリエーション、平日レクリエーション、レクリエーション拠点、子供
	目的地、休憩所、留まれる場所、夜間防犯、夜間利用、交流拠点、洋式トイレ、展示等
情報発信・提供	ビジターセンター、情報入手、公園の情報
	パンフレット、マップ、公衆トイレマップ、眺望点
自然・緑・景観	モウソウチク、くず葉、雑木、眺望、兼六園の借景、重要な緑の山、遠望風致地区、後背緑地、入り組んだ地形、シンボル景観、眺望スポット、斜面緑地保全区域、重要文化的景観選定区域、伝統環境保存区域
	自然度の高いところ、人の手を付けた自然、多様な動植物、風致地区、鳥獣保護区域、都市環境軸、生育・生息環境の保全・継承、生物多様性
市民参画・協働	生き物との触れ合い、薪、循環、クヌギ林、森林浴
	竹林整備の会、後押し、緑の保全・育成のプログラム、市民とのパートナーシップ、くず葉、防災訓練、市民の森づくり、竹林伐採
管理・運営	活かす部分と捨てる部分、一般市民の日常と非日常、既存ストックの活用と再整備、施設の老朽化、維持管理コストの増加、メリハリのある管理、ゾーン区分、持続可能な管理・運営

（２）課題の整理

前述の課題となるキーワードを踏まえ、卯辰山公園及び周辺地域における課題を以下のとおり導きました。



（３）課題の内容

1. 分かりやすく安心して回遊できる歩行・交通環境の形成

園内には、案内サインが少ないことから、現在地や目的地がわかりにくく、また、車道には歩道が整備されていない箇所もあります。案内サインを充実するとともに、訪れる人が安心、安全に園内を回遊できる、歩行・交通環境の整備、確立が必要です。

2. 歴史文化資源の再評価と活用

園内には、卯辰山三社をはじめ、「卯辰山の碑林」と言われるほどの記念碑や顕彰碑・文学碑など数多くの歴史文化資源が息づいているものの、これまで、あまり紹介されて来ませんでした。これらは卯辰山の個性であり、貴重な資源です。卯辰山の魅力向上のため、歴史文化資源を再評価し、活用する取り組みが必要です。

3. 周辺地域との連携

卯辰山公園に隣接するひがし茶屋街や卯辰山山麓寺院群には数多くの観光客が訪れているものの、園内への人の流れが少ない状況にあります。周辺地域と相互に連携し、周辺地域から園内へ、また、園内から周辺地域へと人々が回遊できるような環境整備が必要です。

4. 四季折々の季節感の演出

卯辰山は藩政期より、春秋の自然を愛でる行楽期の遊山として、人々に親しまれてきました。四季折々の風情あふれる自然は、卯辰山の本質的価値であり、公園の魅力でもあります。さらなる魅力向上のため、適切な維持管理や季節感のある演出の工夫が求められています。

5. スポーツ・レクリエーションニーズへの対応

散策、ウォーキング、ジョギング、軽スポーツ等を通じた健康づくりや家族の団らん、地域コミュニティの醸成など、多様な市民ニーズがあります。卯辰山公園は、市街地に隣接した広大な自然空間であり、恵まれた自然環境を活かした身近なスポーツ・レクリエーションの場として、ニーズへの対応が求められています。

6. 公園の核となる施設の必要性

広大で入り組んだ地形であるため、初めて訪れる人々にはわかりにくく、また、利用者がまず目指すべきビジターセンターの機能を有する施設がありません。こうした場所がないことが、卯辰山から市民の足が遠のいている一因でもあり、園内施設や利用に関する情報などを提供する公園の核となるような施設の設置を検討する必要があります。

7. 情報発信･提供手段の充実

卯辰山公園には四季折々の自然や歴史文化等の魅力的な資源があるものの、それを紹介するリーフレットなどが作成されていないのが現状です。より多くの来園者による多様な利用を促進するためにも、情報発信・提供手段を充実する必要があります。

8. 斜面緑地の保全と眺望景観の確保

兼六園の借景を担う斜面緑地には雑木やモウソウチクが繁茂し、景観が阻害されている現況があります。また、市街地や日本海、白山連峰等を望む、望湖台など魅力的な視点場（眺望点）も生長した樹木により視界が遮られています。適切な景観伐採による斜面緑地の保全を図るとともに、眺望スポットしての機能回復が必要です。

9. 豊かな自然環境の保全

園内の山頂部にはアカマツ林、西斜面にはケヤキ群落、北斜面にはコナラ群落など、多様で有用な人工林や自然林があるものの、くず葉の繁茂や倒木の存在など、荒れている部分も見られます。市街地に隣接する貴重な自然環境として、適切な保全管理が必要です。

10. 卯辰山の資源を活かした市民参加型のプログラムの提供

卯辰山公園には、四季折々の自然や歴史文化等の魅力的な資源があるものの、現在これらを活用し、多くの市民の利用や関心を高めるきっかけとなるような体験プログラム等は実施されていません。これからは、公園運営にも、市民の参画・協働が不可欠です。その機運を醸成するためにも、市民参加型のプログラムを市民とともに検討・提供していくことが必要です。

11. 持続可能な公園の管理運営

広大な敷地に数多く点在している施設や緑地は、老朽化や維持管理コストの増加が課題となっています。こうした課題を解決し、豊かな緑を守り育て、卯辰山公園を市民の誇りとして次代に引き継いで行くことを行政だけで実現することが難しい時代になっています。

公園の管理運営にも、市民や企業など多様な主体が参画・協働し、持続可能な管理運営体制を整えることが必要です。

6. 基本構想

6－1　目指すべき方向性

卯辰山は、大正 3 年（1914 年）に本市初の公園として開園し、卯辰山を横断する記念道路や公設運動場等が整備され、昭和 12 年（1937 年）には、卯辰山一帯は、都市計画法（旧法）に基づく風致地区に指定されました。その後、金沢市による遊歩道等の公園整備とともに民間開発による総合娯楽センターなどもでき、市民だけでなく、県内外から多くの人々が集う魅力的な物見遊山の場でした。しかしながら、バブル崩壊後の長引く景気低迷やレジャー施設等の郊外展開、市民ニーズの変化・多様化などにより、民間施設は撤退し、それとともに市民の足は遠のき、次第に人々の記憶から卯辰山が薄れつつあります。

こうした状況の一方、卯辰山周辺では、東山ひがし地区や卯辰山麓地区が国の重伝建に選定され、数多くの観光客が訪れています。また、北陸新幹線金沢開業が平成 27 年 3 月に予定されており、首都圏を始め、国内外からの誘客がより一層期待される、まさに「大交流の時代」を迎えようとしています。

加えて本市は、新たな都市像として「世界の交流拠点都市」を掲げ、これまで培われた金沢のストックを最大限に活用し、国内外から人・モノ・情報の集積を図り、その交流を通じて新たな価値を創造し、持続的な発展を続けるまちを目指しており、卯辰山公園には、人々の多様な交流の場として、その一翼を担うことが求められています。

卯辰山公園は、市街地を眼下に一望でき、遠く日本海や医王山、白山連峰等を望むことができる魅力的な視点場（眺望点）がいくつもあります。兼六園の借景を担い、市街地に隣接する広大な緑あふれる空間は、「環境の世紀」とも言われる 21 世紀において、金沢が世界に誇りうる魅力ある都市景観の主要な構成要素の一つであり、金沢を代表する貴重な自然空間であると言えます。

また、藩政期より人々の営みが受け継がれた歴史文化が息づいており、春秋の行楽期の遊山など、古くから、人々に親しまれてきた花鳥風月の世界観があります。この自然・歴史文化資源は、今も昔も変わらない、卯辰山の本質的価値であると言えます。

これからは、卯辰山の自然・歴史文化資源の本質的価値を踏まえつつ、時代の変化とともに求められる役割や使命の変化を捉えて、市民とともに、卯辰山が有する資源の再評価と活用を図っていくことが必要です。

そのことを通じ、市民が卯辰山の魅力を再発見し、市民の誇りとなる**「金沢の緑の財産」**として守り育てていくことが目指すべき方向であると考えます。

６－２　基本理念と基本方針

（１）基本理念

卯辰山が有する普遍的な価値は、「自然」と「歴史文化」です。そこに「ひと」が集い、「交流」することで、新たな価値が創造されると考えます。

そこで基本理念を

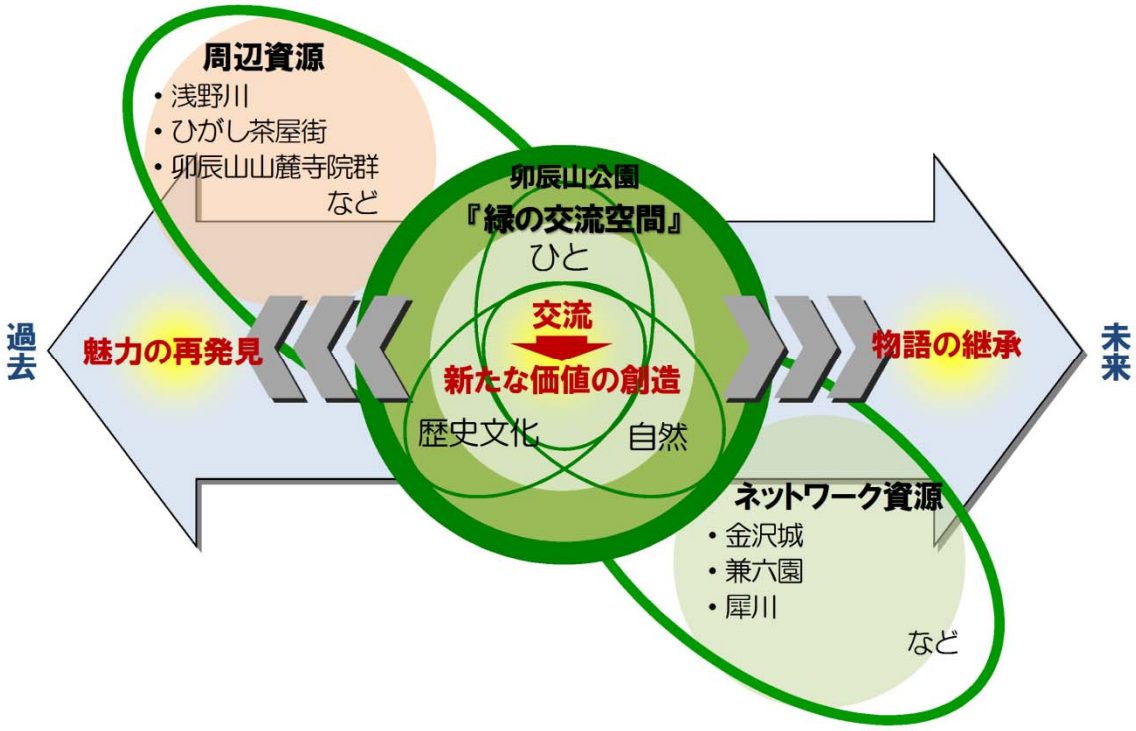
ひと・自然・歴史文化をつなぐ　緑の交流空間・卯辰山

～金沢の緑の交流拠点としての新たな価値の創造～

とし、

人と人、人と自然、人と歴史文化など、多様な交流により創造される新たな価値を育む**「緑の交流空間」**として魅力向上を図ります。

また、卯辰山から浅野川やひがし茶屋街、卯辰山山麓寺院群等の周辺地域へと人々のつながりの輪を広げ、過去から現在（いま）につながる卯辰山の魅力を未来へとつないでいきます。



（２）基本方針

基本理念を実現するため、次の３つの基本方針に基づき、卯辰山公園の魅力向上に取り組んで行きます。

歴史をつなぐ

～金沢の歴史文化資源とつながる公園づくり～

卯辰山公園の歴史文化資源を再評価するとともに、旧城下町区域に隣接する立地特性を活かし、浅野川やひがし茶屋街、卯辰山山麓寺院群等の周辺地域からの人の流れを卯辰山公園に導き、**物語性に富んだ歴史公園**として魅力向上を図っていきます。

卯辰山に通じる子来坂

ひとをつなぐ

～眺望や回遊を楽しみ、人と人がつながる公園づくり～

眺望を楽しむ、散策を楽しむなど、いろいろな目的で公園を訪れる人々の滞在を促進させ、**人々が気軽に訪れ、交流する都市公園**として魅力向上をを図っていきます。

見晴らし台より望む

自然をつなぐ

～市民とともに、自然環境を未来につなぐ公園づくり～

卯辰山公園の豊かな自然環境を保全し、人と自然との交流の機会を積極的に提供します。併せて、適切な維持管理を推進するため、市民・事業者・行政が一体となり、**親しみやすい身近な自然公園**として魅力向上を図っていきます。

市民の森づくり（大乗寺丘公園）

7. 基本計画

7－1　基本ゾーニング

卯辰山公園の地形や内包する資源及び周辺地域の特性を踏まえ、以下の３つの基本ゾーンを設定します。

《歴史文化ゾーン》

■ゾーン特性

・卯辰山公園の西南部に位置し、浅野川やひがし茶屋街、卯辰山山麓寺院群等が含まれます。

■概　　要

・卯辰山の玄関口として市街地からいくつものルートがあり、数多くの石碑、社寺等の歴史文化資源を活かした散策が楽しめるゾーンとして、利活用を図っていきます。

《眺望交流ゾーン》

■ゾーン特性

・卯辰山公園の中央部に位置し、玉兎ヶ丘、望湖台、見晴らし台等の広場緑地や卯辰山工芸工房、健康交流センター千寿閣等があります。

■概　　要

・卯辰山の尾根筋にあたる平坦地であり、眺望や軽スポーツ等を楽しみながら、人々がゆったりと過ごし交流できるゾーンとして、利活用を図っていきます。

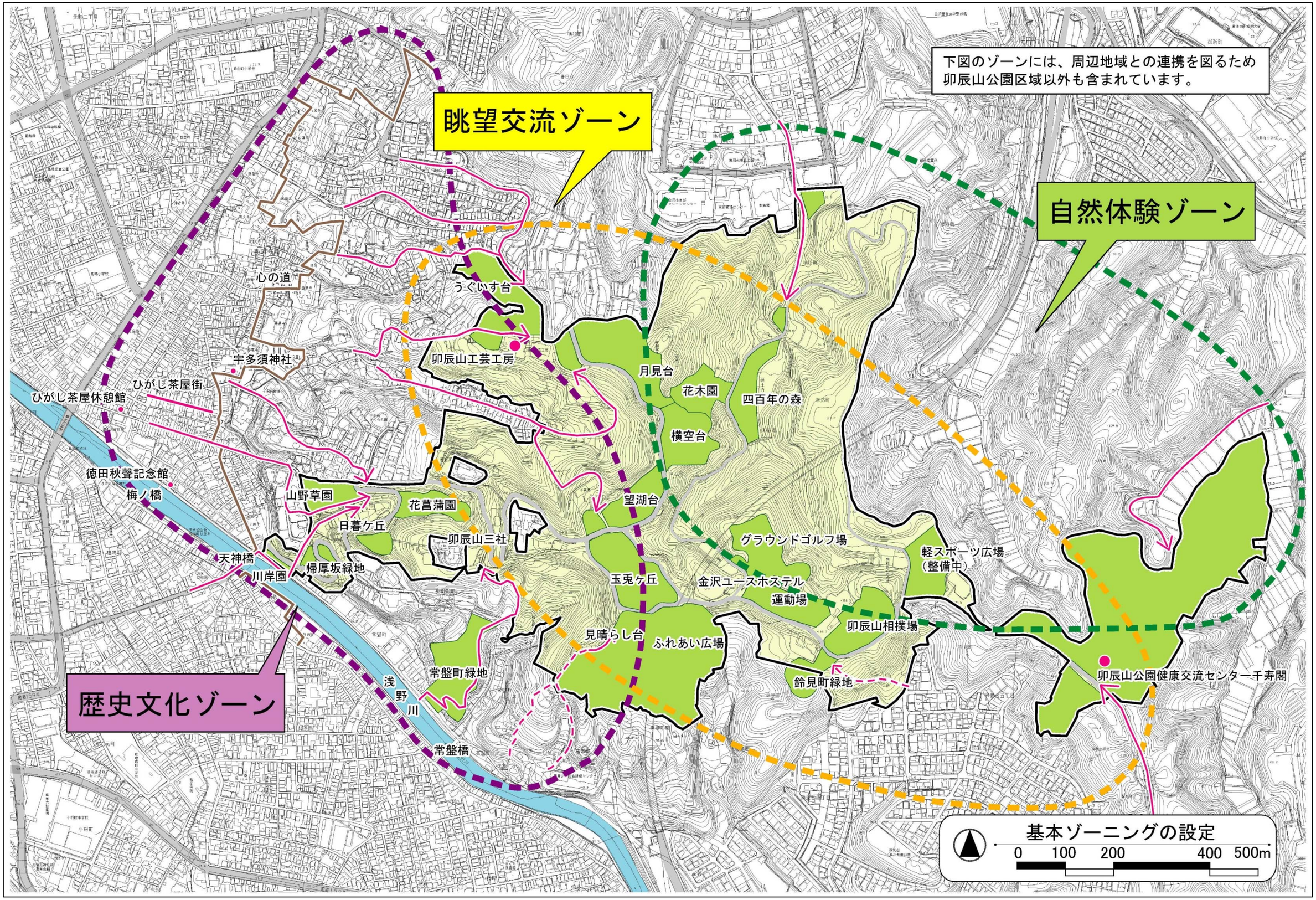
《自然体験ゾーン》

■ゾーン特性

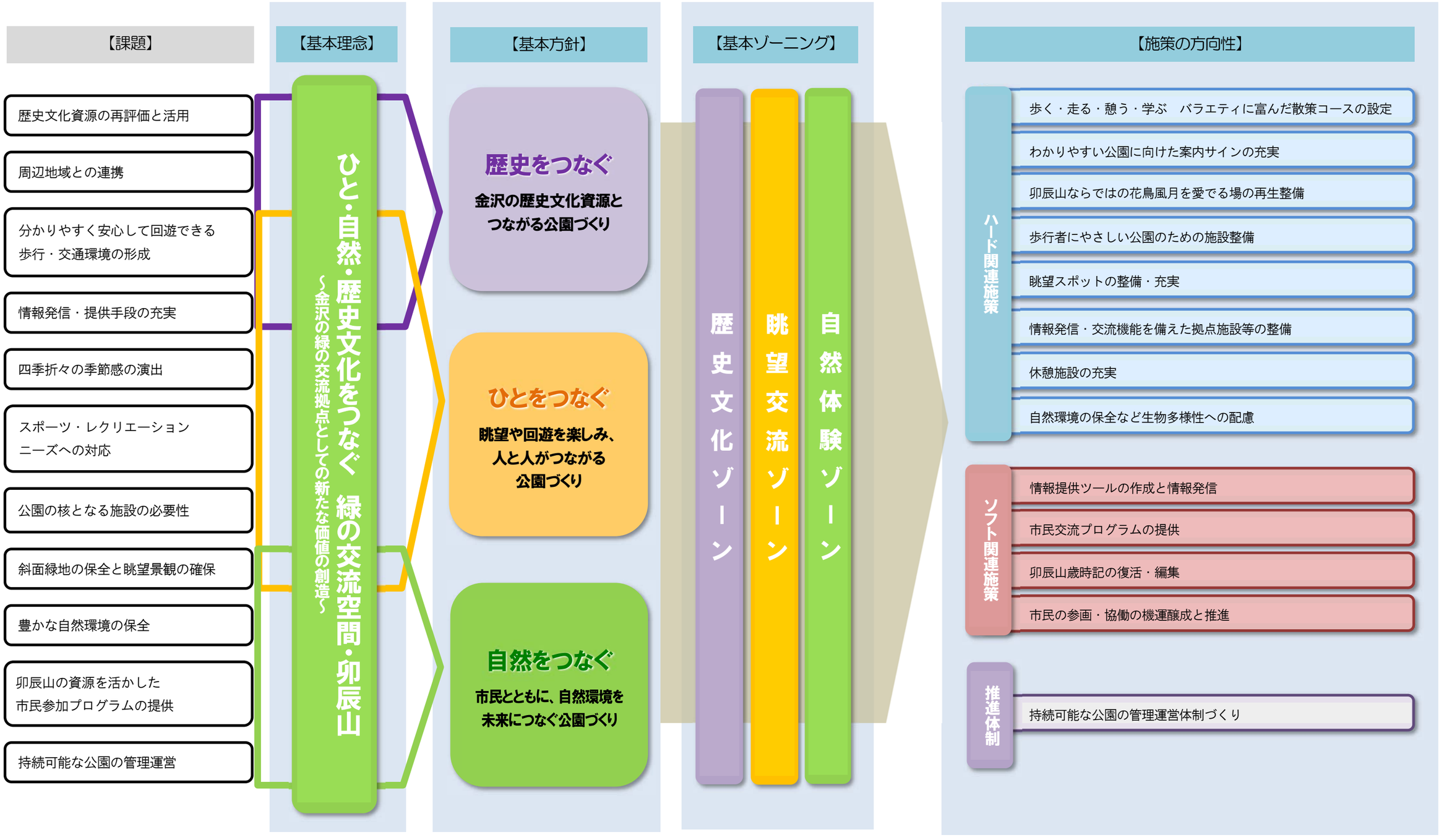
・卯辰山公園の北東部に位置し、四百年の森、花木園、循環園路、棚田等があります。

■概　要

・自然度の高い貴重な雑木林が広がっており、生物多様性の保全を基本に、市民の身近な自然体験を育むゾーンとして利活用を図っていきます。


下図のゾーンには、周辺地域との連携を図るため
卯辰山公園区域以外も含まれています。
眺望交流ゾーン
自然体験ゾーン
歴史文化ゾーン
心の道
うぐいす台
宇多須神社
ひがし茶屋街
ひがし茶屋休憩館
卯辰山工芸工房
月見台
花木園
四百年の森
横空台
徳田秋聲記念館
梅ノ橋
山野草園
花菖蒲園
日暮ケ丘
望湖台
卯辰山三社
グラウンドゴルフ場
軽スポーツ広場
（整備中）
天神橋
川岸園
帰厚坂緑地
玉兎ケ丘
金沢ユースホステル
運動場
卯辰山相撲場
見晴らし台
ふれあい広場
常盤町緑地
鈴見町緑地
卯辰山公園健康交流センター千寿閣
浅野川
常盤橋
基本ゾーニングの設定
0 100 200 400 500m

7－2　基本計画の体系


【課題】
歴史文化資源の再評価と活用
周辺地域との連携
分かりやすく安心して回遊できる
歩行・交通環境の形成
情報発信・提供手段の充実
四季折々の季節感の演出
スポーツ・レクリエーション
ニーズへの対応
公園の核となる施設の必要性
斜面緑地の保全と眺望景観の確保
豊かな自然環境の保全
卯辰山の資源を活かした
市民参加プログラムの提供
持続可能な公園の管理運営
【基本理念】
ひと・自然・歴史文化をつなぐ 緑の交流空間・卯辰山
～金沢の緑の交流拠点としての新たな価値の創造～
【基本方針】
歴史をつなぐ
金沢の歴史文化資源と
つながる公園づくり
ひとをつなぐ
眺望や回遊を楽しみ、
人と人がつながる
公園づくり
自然をつなぐ
市民とともに、自然環境を
未来につなぐ公園づくり
【基本ゾーニング】
歴史文化ゾーン
眺望交流ゾーン
自然体験ゾーン
【施策の方向性】
ハード関連施策
歩く・走る・憩う・学ぶ　バラエティに富んだ散策コースの設定
わかりやすい公園に向けた案内サインの充実
卯辰山ならではの花鳥風月を愛でる場の再生整備
歩行者にやさしい公園のための施設整備
眺望スポットの整備・充実
情報発信・交流機能を備えた拠点施設等の整備
休憩施設の充実
自然環境の保全など生物多様性への配慮
ソフト関連施策
情報提供ツールの作成と情報発信
市民交流プログラムの提供
卯辰山歳時記の復活・編集
市民の参画・協働の機運醸成と推進
推進体制
持続可能な公園の管理運営体制づくり

7－3 施策の方向性と施策展開

●：新規施策、○：既存施策の充実
事業時期：前期（H26～28）、中期（H29～31）、後期（H32～35）
対応課題については、「3．課題の整理」（15 ページ参照）

（1）ハード関連施策

①歩く・走る・憩う・学ぶ バラエティに富んだ散策コースの設定

【対応課題…2,3,5】

■基本的な考え方

卯辰山公園に息づく自然や歴史文化資源を再評価し、物語性と回遊性のある散策コースや健康づくりに寄与するウォーキング・ジョギングコースの設定を進めていきます。

■施策の展開

●散策コース及びサイン設置の基本計画策定

・テーマ性を持たせたコースを設定し、適切な誘導と魅力的なサイン設置を図る基本計画を策定します。

（コース設定の考え方）

＊３つのゾーン特性を踏まえながら、既存園路を活用した回遊性のあるコース設定
＊公園内の起伏ある地形や物語性を活かした魅力あるコース設定
＊浅野川、ひがし茶屋街、卯辰山山麓寺院群等、周辺の観光スポットとの連続性確保
＊ファミリーや高齢者、観光客など各利用者の目的に応じて、コース選択ができるよう所要時間や距離、運動達成度（運動量）等の情報提供

○散策コース等の整備

・散策コース及びサイン設置の基本計画に基づき、公園内の既存園路、歩道を最大限活用しながら、必要に応じて園路、歩道の改修、新設を行います。

○公園へのアプローチの改善・修繕

・散策コース及びサイン設置の基本計画に基づき、周辺地域との連続性を確保するため、卯辰山公園へのアプローチとなる道路等で快適な歩行空間の創出を目指した改善・修繕を進めていきます。

●石碑等の適正管理の推進

・卯辰山に設置されている多くの句碑、記念碑等は、卯辰山の魅力を高める貴重な歴史文化資源であり、その設置及び管理者に対し、適正な管理を働きかけるとともに、安全・安心の確保のための支援を行っていきます。

徳田秋声文学碑

■事業スケジュール

施策の方向性	施策の展開	事業時期		
		前期	中期	後期
歩く・走る・憩う・学ぶ バラエティに富んだ散策コースの設定	●散策コース及びサイン設置の基本計画策定	□		
	○散策コース等の整備		□	
	○公園へのアプローチの改善・修繕		□	
	●石碑等の適正管理の推進			□

散策コースの一例

《歴史文化ゾーン：歴史のみち》

卯辰山の麓に位置する浅野川やひがし茶屋街、卯辰山山麓寺院群から坂道を登り、卯辰山中腹にある社寺、石碑及び草花園を訪ねるコース。主に近隣住民のウォーキングや観光客等を想定。

見どころとしては、ひがし茶屋街から子来坂・観音坂、天神橋から帰厚坂、浅野川から常盤町緑地などの坂道を経て、花菖蒲園、山野草園、卯辰山三社等をめぐり、金沢の歴史の変遷を感じることができる。また、日暮ヶ丘や坂道の途中から浅野川や街並みの眺望を垣間見ることもできる。

浅野川と天神橋

ひがし茶屋街

ひがし茶屋街から子来坂へ

花菖蒲園

卯辰山三社の参道

卯辰山三社参り

《眺望交流ゾーン：眺望のみち》

卯辰山山頂部の平地に分布する多数の眺望スポットや石碑を巡るコース。主に市民や観光客等を想定。

見どころとしては、日本海を望む望湖台や医王山、白山連峰を眺望できる横空台をはじめ、浅野川や街並みを俯瞰できる見晴らし台、玉兎ヶ丘があり、卯辰山工芸工房で金沢ゆかりの工芸品を鑑賞することができる。

見晴らし台からの眺望

専光寺東山霊所からの眺望

横空台からの眺望

徳田秋声文学碑

卯辰山工芸工房

キリスト教殉教者の碑

《自然体験ゾーン：自然のみち》

卯辰山山頂の北東側に位置し、コナラ林や自然度が高い貴重な雑木林、桜やモミジを楽しむコース。主に桜や紅葉狩りを楽しむ市民や自然体験に興味のある方を想定。

見どころとして、四百年の森、花木園などの樹木を愛でたり、コナラ林のある循環園路でノルディックウォークや自然体験等ができる。

四百年の森

循環園路の雑木林

花木園

トレッキングの様子
（写真提供：NPO 法人角間里山みらい）

②わかりやすい公園に向けた案内サインの充実

【対応課題…1,3】

■基本的な考え方

市民や観光客など訪れる人が、目的地までの距離や時間等を的確に把握し、迷うことなく安心して公園内を回遊できるように、伝えるべき情報やデザイン、設置位置のほか、外国語表記にも配慮した案内サインを充実していきます。

デザインされたサインの一例

■施策の展開

●（再掲）散策コース及びサイン設置の基本計画策定

・テーマ性を持たせたコースを設定し、適切な誘導と魅力的なサイン設置を図る基本計画を策定します。

（サイン設置の考え方）

＊公園内の回遊性に応じて体系化したサイン配置計画を作成し、効果的なサインを提供

＊自然環境や景観に十分配慮し、できる限り統一したデザイン

＊ユニバーサルデザインへの配慮

＊アイコン化、ローマ字表記など、外国人観光客にも対応した表記

＊トイレ、駐車場、休憩ポイント等、利用者の利便性に配慮した情報を提供

＊利用者が安心して公園を利用できるよう主要スポット間の距離や所要時間、運動量、眺望ポイントや山名等の情報を提供

＊必要に応じて、夜間の利用への配慮

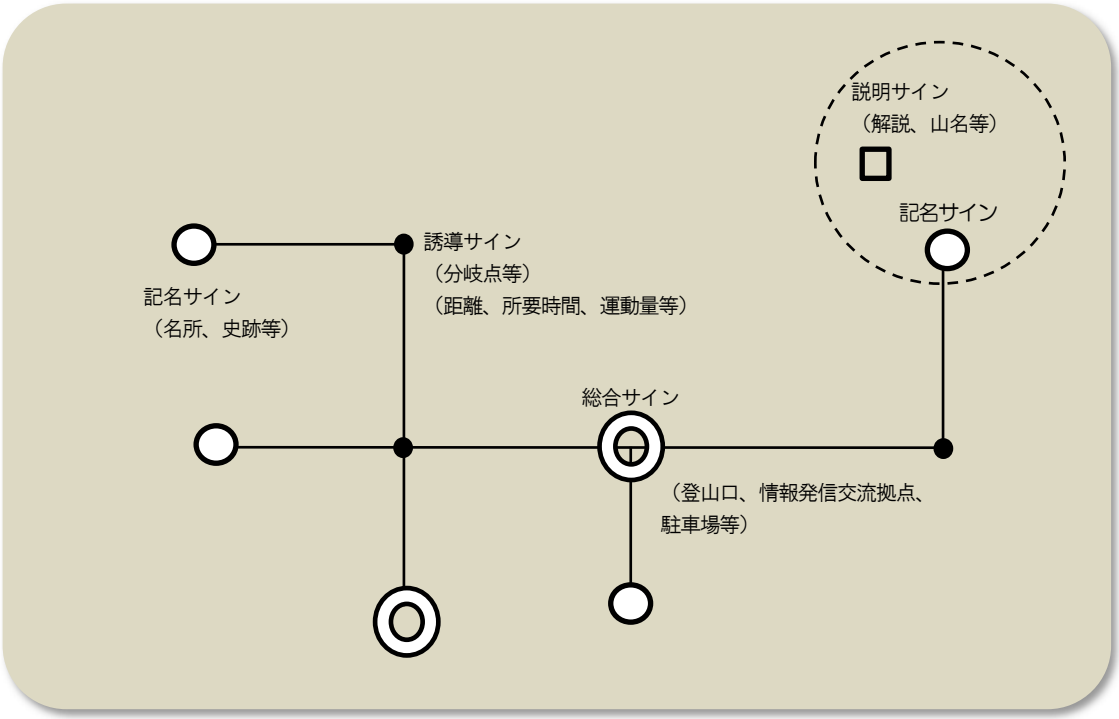
●サイン設置の推進

・散策コース及びサイン設置の基本計画に基づき、公園内の既存サインを最大限活用しながら、必要に応じてサインの改修、新設を行います。

■事業スケジュール

施策の方向性	施策の展開	事業時期		
		前期	中期	後期
わかりやすい公園に向けた案内サインの充実	●（再掲）散策コース及びサイン設置の基本計画策定	□		
	●サイン設置の推進	□	□	

サイン配置計画のイメージ



区分	機能	内容
総合サイン	面的情報	地域や建物・施設などの全体的な状況を地図を用いて示し、地域内での現在地との位置関係を確認するためのもの。誘導サイン、記名サインと関連して使用する。
誘導サイン	線的情報	利用者を目的の場所まで誘い導く機能を持つもので、目的場所の名称や絵文字、方向を示す矢印や文字、場合によっては現在地からの距離などを表示する。
記名サイン	点的情報	その場所の地名・施設名を示し、他と識別させる機能を持ち、目的地であることを最終的に確認させるもの。
説明サイン	点的情報	管理者など情報の送り手の意図を説明したり、施設・場所の説明、名所・旧跡の由来や歴史を解説する機能を持つもの。

③卯辰山ならではの花鳥風月を愛でる場の再生整備

【対応課題…2,4】

■基本的な考え方

自然を愛でながら遊山を楽しむ場所として、月見など、かつて市民が憩い楽しんでいた卯辰山らしい、四季折々の風情あふれる良好な環境を保全・再生するとともに、桜やモミジの植樹等により、桜並木の創出やモミジの名所づくりを進め、卯辰山ならではの環境を再生・整備していきます。

また、桜や紅葉のライトアップ等による現代版歳時記としての演出の工夫や夜間に安心して訪れることができるよう照明灯を要所に増やすなど、賑わい創出にむけた新たなしかけも施していきます。

四百年の森の桜

花菖蒲園

■施策の展開

○桜ロードの創出

・春の花見の名所としての再生を目指し、主要道路・園路沿道に桜を植樹し、桜ロードとして整備を進めていきます。

○モミジの名所づくり

・卯辰山の南側斜面を中心として、モミジを植樹し、紅葉時期の名所として再生するとともに、市街地の背景となる彩り豊かな緑を創出します。

●次の100年森づくり

・卯辰山は市民共有の緑の財産であり、藩政期からの歴史文化の象徴空間、動植物の貴重な生息・生育環境であることを踏まえ、今後 100 年先を見据えた樹林の天然更新※1 をも想定した緻密な育成管理計画を策定し、未来の市民にも恩恵を与える豊かな緑環境として継承することを目標とした森づくりを進めていきます。

※1　**天然更新**
植林など人の手を加えず、自然に落下した種子や根株からの芽を育てていく森づくりの方法。

○四季折々の花木、山野草の保全

・園内に自生もしくは植栽した花木や山野草を大切に保全するとともに、園外への持ち出し禁止など、観賞マナーを周知していきます。

●月見の場の再生

・旧暦７月 26 日頃の深夜、卯辰山から昇る三日月の光を拝む風習として寺町・諏訪神社に伝わる神事「三光さん」もあり、金沢に伝わる月見の文化を地域資源として継承するために、卯辰山において月見の場を再生・整備します。

●夜間景観の創出と整備

・桜や紅葉のシーズンには、夜も美しい園内の景観を楽しみ、鑑賞できるようライトアップの演出を行います。また、市街地の夜景を安心して楽しむことができるよう、眺望スポットとその周辺の園路には、市街地からの景観に配慮した照明灯を整備します。

○既存緑地の再生・整備

・四季折々の花を楽しめる花木園や花菖蒲園など既存緑地については、樹木更新や土壌改良及び園路の改修等の再生・整備を行い、公園内の名所として保全を図ります。

■事業スケジュール

施策の方向性	施策の展開	事業時期		
		前期	中期	後期
卯辰山ならではの花鳥風月を愛でる場の再生整備	○桜ロードの創出	□		
	○モミジの名所づくり	□		
	●次の 100 年森づくり	□	□	□
	○四季折々の花木、山野草の保全		□	□
	●月見の場の再生		□	
	●夜間景観の創出と整備		□	
	○既存緑地の再生・整備	□	□	

④歩行者にやさしい公園のための施設整備

【対応課題…1】

■基本的な考え方

入り組んだ地形により、新たな歩行空間を確保することが難しい状況にあるため、既存園路等を有効活用しながら、歩行者にやさしい公園を基本とした交通対策を講じるとともに、歩行者の利便性とバリアフリーに配慮した施設整備を進めていきます。また、駐車場については、自然の中に溶け込んでいる現在の分散型の駐車場配置を基本とし、規模の大きな駐車場は整備しないこととします。

■施策の展開

●園路等のバリアフリー化

・園路等については、比較的平坦な山頂部においては、段差の解消やスロープ、手すりの設置等、バリアフリーに配慮した施設整備に努めます。なお、麓から山頂に至る園路等、急勾配でスロープの設置が困難な場所では、階段部での手すりの設置等により、歩行弱者に配慮します。

○既存園路の修繕・改善

・舗装の汚れや剥がれなど、老朽化している既存園路について、舗装や階段の修繕・改修を進めていきます。

○園路沿いの適切な樹木管理の推進

・道路や園路上に張り出した枝の剪定・草刈り等、適切な樹木管理を推進することで、現在の薄暗く鬱蒼とした状況を改善するとともに良好な視界を確保し、通行・歩行環境および安全性の向上を図ります。

●市道卯辰山公園線での歩行者優先の道づくり

・公園内の通過交通の排除と歩行者の安全確保のため、市道卯辰山公園線の一部を歩車共存型道路※2に改修し、車両の速度を抑制するとともに、Uターン車両に対応するラウンドアバウト型交差点※3の設置を検討します。

※2　**歩車共存型道路**
歩行者空間や公園を組み合わせ、車道部分を蛇行させ自動車の速度を抑えることで歩行者との共存を図る道路。

※3　**ラウンドアバウト型交差点**
円形交差点の一種である。通常 3 本以上の道路を円形のスペースを介して接続したもので、この円形のスペースの真ん中には中央島と呼ばれる、円形の通行できない区域がある。車両はこの中央島の周りの環状の道路（環道）を一方向に（右側通行なら反時計回り、左側通行なら時計回り）通行する。

●交通環境の整備・充実

・市民や観光客が気軽に公園へ訪れることができるよう、路線バスの増便やふらっとバスの乗り入れ等公共交通の充実や貸自転車を始めとした園内の移動手段について、導入可能性を検討します。

■事業スケジュール

施策の方向性	施策の展開	事業時期		
		前期	中期	後期
歩行者にやさしい公園のための施設整備	●園路等のバリアフリー化		□	□
	○既存園路の修繕・改善	□	□	□
	○園路沿いの適切な樹木管理の推進	□	□	□
	●市道卯辰山公園線での歩行者優先の道づくり			□
	●交通環境の整備・充実			□

⑤眺望スポットの整備・充実

【対応課題…8】

■基本的な考え方

市街地を見渡すことができる卯辰山公園の地理的特性を活かし、歴史的風致の保全に配慮しながら、魅力的な眺望スポットの新設・改修を進めていきます。

玉兎ヶ丘より市街地を望む

■施策の展開

○代表的な眺望スポットの再整備

・見晴らし台、望湖台、玉兎ヶ丘、横空台、日暮ヶ丘及びうぐいす台といった既存の眺望スポットにおいて、眺望を阻害している樹木の伐採や剪定を実施し、開放感のある空間を提供するほか、アートの要素を取り入れた改修を進めるなど魅力向上を図ります。

●景観面に配慮した適切な樹木管理

・兼六園や旧城下町区域の背後緑地としての文化的な景観を守るため、斜面緑地に繁茂する密集樹木やモウソウチク等の適切な間伐・伐採を行います。

●新たな眺望ポイントの整備

・散策コース沿いの坂道から垣間見える小さな眺望点を新たな眺望ポイントとして位置づけ、近接する樹木の間伐・剪定や手すりやベンチ等の設置により、小休憩できるたまり空間として整備をしていきます。（散策コース整備に併せて実施）

●新たな眺望スポットの整備

・宗教法人施設跡地を新たな眺望と交流の場として、歴史文化ゾーンの核となる整備を行い、ひがし茶屋街や卯辰山山麓寺院群等との連続性を強化します。

■事業スケジュール

施策の方向性	施策の展開	事業時期		
		前期	中期	後期
眺望スポットの整備・充実	○代表的な眺望スポットの再整備	□	□	
	●景観面に配慮した適切な樹木管理	□	□	□
	●新たな眺望ポイントの整備	□	□	
	●新たな眺望スポットの整備	□	□	

⑥情報発信・交流機能を備えた拠点施設等の整備

【対応課題…6,7】

■基本的な考え方

来園者の利用起点や目的地として、また、公園内施設や利用に関する情報、イベント情報等を提供する施設の整備について検討します。また、観光客や近隣住民だけでなく、多様な目的に応じた公園利用と利用者同士の交流を促進するカフェ等を併設した施設設置についても検討していきます。

拠点施設イメージ（大乗寺丘陵公園）

■施策の展開

●ビジターセンター（交流拠点施設）の整備

・施設の機能…情報提供機能（インフォメーション）、休憩機能（無料休憩スペース）
便益機能（カフェ、トイレ）、交流機能（ギャラリー等）
管理機能（公園管理事務所）

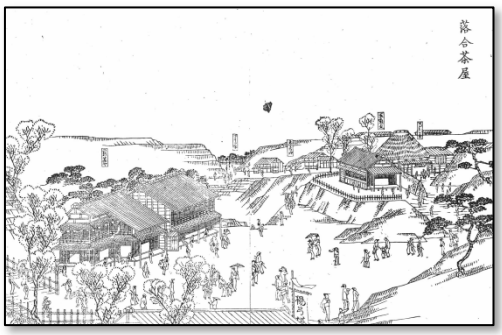
・候　補　地…山頂部（玉兎ケ丘）周辺

●民間によるカフェ等の飲食機能を備えた施設の設置

・民間ノウハウを活用し、都市公園法に規定する「設置管理許可制度※4」によるカフェ等の施設設置について検討します。

・候　補　地…宗教法人施設跡地
山頂部（玉兎ヶ丘）周辺等

※4　**設置管理許可制度**
公園管理者以外の者が、公園施設を設置又は管理をすることができる制度であり、民間事業者による飲食店・売店等の便益施設の設置及び管理にも活用されている。



落合茶屋
御宮のうしろ獅子坂の下にあり、お宮より玉兎台、庚申坂へいく境道で休み茶屋が 4～5 軒あって、登山の人々の多くがこの辺りで落合するところでいつも賑わっていました。そこからこの名が付いたといわれます。

出典：「落合茶屋」卯辰山開拓録

○軽スポーツ広場の整備

・手軽なスポーツ利用に応じた芝生広場やジョギングコースを整備し、公園利用者にスポーツ交流の場を提供します。

■事業スケジュール

施策の方向性	施策の展開	事業時期		
		前期	中期	後期
情報発信・交流機能を備えた拠点施設等の整備	●ビジターセンター（交流拠点施設）の整備		□	
	●民間によるカフェ等の飲食機能を備えた施設の設置		□	
	○軽スポーツ広場の整備	□		

⑦休憩施設の充実

【対応課題…1,5】

■基本的な考え方

公園内での散策、ウォーキング、ジョギング等の利用、ファミリー層や高齢者･障害者等の多様な市民による利用形態を想定し、快適かつゆっくりと滞在できるような休憩施設を整備･充実していきます。

休憩施設の整備イメージ
（額谷ふれあい公園）

■施策の展開

●四阿（あずまや）、ベンチの整備･充実

・主要な散策コース上に四阿やベンチを整備し、休憩できる環境を整えていきます。
また、自然散策コースである循環園路では、クロスカントリーコースとしての利用も見込み、起点となる軽スポーツ広場において、ランニングブームの高まりを受け、ロッカー室を備えた休憩施設の設置を検討します。

○トイレの改修･整備

・トイレの増設のほか、多目的トイレなどユニバーサルデザイン※5に配慮した改修・整備を進め、安心して利用できる環境を整えていきます。

※5　**ユニバーサルデザイン**
文化・言語・国籍の違い、老若男女といった差異、障害・能力の如何を問わずに利用することができる施設・製品・情報の設計（デザイン）をいう。

■事業スケジュール

施策の方向性	施策の展開	事業時期		
		前期	中期	後期
休憩施設の充実	●四阿（あずまや）、ベンチの整備・充実		□	□
	○トイレの改修・整備		□	□

⑧自然環境の保全など生物多様性への配慮

【対応課題…8,9】

■基本的な考え方

公園内の自然環境については、多様な動植物の生息･生育環境、公園外とつながりある貴重な生態系であることに十分配慮し、適切に保全･維持管理していきます。また、下草刈りや密度の高い林相における間伐の実施など、自然林の適切な保全管理により、獣害対策にも配慮していきます。

横空台より望む豊かな自然

■施策の展開

○樹林地の適切な保全、維持管理

・笹や葛（くず）、蔦（つた）等、斜面一面を覆っている雑草等の下草刈りや密度の高い林相における雑木の間伐を実施し、手入れの行き届いた樹林地を保全するとともに、見通しを確保し、人の気配を感じさせることで、獣害対策にも配慮しながら、維持管理します。

○竹林の駆除及び郷土種樹木の植樹

・卯辰山特有の自然環境や景観を損なう竹林の拡大を防止するため、計画的な伐採による拡大防止を図るとともに、次の 100 年森づくりの植栽計画に基づき、継続的に卯辰山にふさわしい郷土種樹木を植樹していきます。

■事業スケジュール

施策の方向性	施策の展開	事業時期		
		前期	中期	後期
自然環境の保全など生物多様性への配慮	○樹林地の適切な保全、維持管理		□	□
	○竹林の駆除及び郷土種樹木の植樹	□	□	□

（２）ソフト関連施策

①情報提供ツールの作成と情報発信

【対応課題…7】

■基本的な考え方

卯辰山公園に対する関心を高め、多くの来園者による多様な利用を促進するため、四季折々の自然や歴史文化等の魅力的な見所や散策ルート、園内の過ごし方等を紹介するリーフレットなど、情報提供ツールを作成するとともに、ＩＣＴ（情報通信技術）などを活用し、広く情報発信していきます。

金沢市公式スマートフォンアプリ

■施策の展開

●歴史文化資源の調査

・卯辰山公園の歴史文化の情報発信にむけ、歴史文化資源を調査し、情報収集を行います。

●四季折々の魅力や歴史文化を紹介したリーフレット、小冊子等の作成

・四季折々の魅力や歴史文化を紹介したリーフレットを作成し、ビジターセンター等へ配置します。

●卯辰山公園の魅力を紹介し、スマートフォンにも対応したホームページの提供

・卯辰山公園の利用促進のため、四季折々の自然や歴史文化等の魅力的な見所や散策ルート、園内の公園施設やイベント情報等、公園の魅力を紹介するホームページを作成します。スマートフォン対応版も作成することで、ＧＰＳ※6機能と連動した現在位置での公園の情報受信を容易にします。

※6　GPS
Global Positioning System（全地球測位網）は、アメリカ合衆国によって運用される衛星測位システム（地球上の現在位置を測定するためのシステムのこと）を指す。

■事業スケジュール

施策の方向性	施策の展開	事業時期		
		前期	中期	後期
情報提供ツールの作成と情報発信	●歴史文化資源の調査	□		
	●四季折々の魅力や歴史文化を紹介したリーフレット、小冊子等の作成		□	
	●卯辰山公園の魅力を紹介し、スマートフォンにも対応したホームページの提供		□	

②市民交流プログラムの提供

【対応課題…10】

■基本的な考え方

卯辰山公園をフィールドに、豊かな自然環境の保全活動と市民の環境教育や健康づくり等を組み合わせた、市民参画・協働を促進する交流プログラムづくりを市民とともに進め、広く提供していきます。

公園を会場とした自然アート展

■施策の展開

●多様な体験プログラムの提供

・自然環境、健康づくり、地域コミュニティ等に関わる市民の活動グループ・団体等との連携や公園内に立地する卯辰山工芸工房、健康交流センター千寿閣との連携により、公園全体として魅力ある多様な体験プログラムを提供していきます。

プログラムの一例

健康づくりプログラム	・軽スポーツ大会 ・ウォーキングラリー※7
交流イベント	・星空観察会 ・野外コンサート
体験学習	・卯辰山歴史探訪ウォーク ・卯辰山植物ウォッチング ・ネイチャーゲーム
芸術・創作活動	・写生大会 ・フォトコンテスト ・工芸創作体験（卯辰山工芸工房） ・山菜教室（健康交流センター千寿閣） ・竹細工、草木染め、木の実工作教室（健康交流センター千寿閣）
環境保全プログラム	・自然環境保全活動（下草刈り体験等）

※7　**ウォーキングラリー**
主に歩くことを目的として、設定されたコースを進み、目的地を目指すもので、気軽に参加できるレクリエーションである。

■事業スケジュール

施策の方向性	施策の展開	事業時期		
		前期	中期	後期
市民交流プログラムの提供	●多様な体験プログラムの提供		□	□

③卯辰山歳時記の復活・編集

【対応課題…2,4,10】

■基本的な考え方

公園内での野点イメージ

中心市街地に隣接する卯辰山は、子供たちにとっては、日々の格好の遊び場であり、また、自然とふれあいながら、体を鍛え、成長を育む場でもありました。

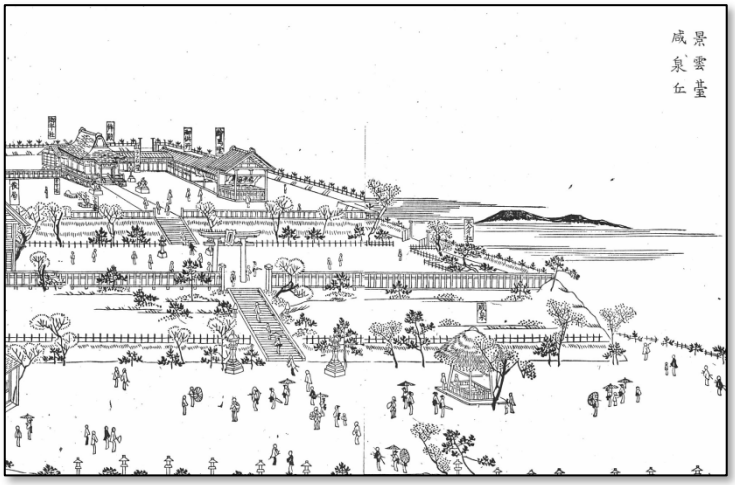
歳時記を紐解くと、かつては、花鳥風月を愛でる宴の場であり、春には花見や野点、夏には花火見物や浅野川での納涼、秋には月見や紅葉狩り、冬には枯野見、雪見などを楽しみ、その折には、月見会、花見会、茶会、句会、参詣等の催しが嗜まれ、子供からお年寄りまでが気軽に参加できる卯辰山ならではの物見遊山的な催事がありました。このような昔懐かしく、かつ現代生活に潤いをもたらす歳時記を復活・継承し、現代版の卯辰山歳時記として編集し、卯辰山ならではの魅力づけを進めていきます。

■施策の展開

●卯辰山歳時記の開催

・かつて卯辰山で行われていた花鳥風月の世界観を再現した卯辰山歳時記について現代の市民が参加しやすい内容として再編集し、提供していきます。

（歳時記プログラム例）月見会、野点、句会など



御本社

慶応３年養生所開設のとき病民保護のため、藩主の命により建立されました。
「山のお天神さん」といわれ信仰されている天満宮で祭神は菅原道真で前田家の祖先であります。
お祭りには金沢の町々にはのぼり旗をたて、数百の獅子舞を奉納し練り歩き、夜は軒々に見事な提灯をともし見物の群集で賑わいました。
翌明治元年卯辰神社の号になりました。

出典：「景雲台　咸泉丘」卯辰山開拓録

■事業スケジュール

施策の方向性	施策の展開	事業時期		
		前期	中期	後期
卯辰山歳時記の復活・編集	●卯辰山歳時記の開催		□	□

④市民の参画・協働の機運醸成と推進

【対応課題…10,11】

■基本的な考え方

卯辰山公園に親しみや愛着を感じる市民や企業等を増やし、公園の管理運営における市民の参画・協働の機運を醸成し、その推進を図っていきます。

市民の森づくりの様子（大乗寺丘陵公園）

■施策の展開

○ボランティア活動の推進

・公園管理運営に市民がボランティアとして参加できるシステムを構築します。「緑と花の活動員」の実績を踏まえ、ボランティアを公募・養成し、公園内各所をフィールドに、世代間交流の場、自分の特技を生かす活動の場、生きがいづくりの場として市民が活躍できる場を提供していきます。また、ボランティア活動が実践されていく中で、活動者自身の発案によるイベントやプログラムの企画運営等への自主的な関わりを促進していきます。

○公園等里親制度（アドプト制度）の推進

・樹木やベンチといった公園施設等への寄付や除草等の保全活動など、協賛する企業や市民が関わることができるアドプト制度※8の推進を図ります。

※8　**アドプト制度**
市民と行政が協働で進める清掃活動をベースとしたまち美化プログラム。アドプト(Adopt)とは英語で「○○を養子にする」の意味。

●パークコーディネーターの育成、配置

・自然環境や歴史文化、地域コミュニティ等に関心を持ち、公園利用を始めるような人材や団体に対して、多様な利用促進策や人材育成プログラム等を通じて、市民が円滑に参画・協働できるよう、コーディネーター等の人材育成を図ります。

○クリーンアップ活動の継続・充実

・卯辰山公園を普段から利用している市民等（卯辰山周辺校下及び公園利用者）の公園に対する愛着をより一層深めてもらい、公園の管理運営や美化清掃における市民の参画・協働を促進します。

■事業スケジュール

施策の方向性	施策の展開	事業時期		
		前期	中期	後期
市民の参画・協働の機運醸成と推進	○ボランティア活動の推進	□	□	□
	○公園等里親制度（アドプト制度）の推進	□	□	□
	●パークコーディネーターの育成、配置		□	□
	○クリーンアップ活動の継続・充実	□	□	□

（３)推進体制

①持続可能な公園の管理運営体制づくり

【対応課題…11】

■基本的な考え方

卯辰山公園の自然や歴史文化の保全・活用を通じた公園の魅力と利用環境の向上等に努め、持続可能な公園へと進化を図っていくために、多様な主体の参画と連携のもと、パートナーシップによる管理運営が可能となるような体制づくりを検討していきます。

なお、管理運営面での市民と行政とのパートナーシップは、短期間で構築できるものではないため、継続的な活動実践のもと、行政主体による管理運営から市民と行政のパートナーシップによる管理運営へと段階的に発展させていきます。

■施策の展開

●卯辰山公園管理運営協議会(仮称)の設置

・地域コミュニティ、ボランティア団体、ＮＰＯ等の市民活動団体、協賛企業等が加わった「卯辰山公園管理運営協議会（仮称）」を設置し、卯辰山公園に対する幅広いニーズを把握するとともに、相互の情報交換、ネットワーク化を図り、市民参加型の公園管理運営について協議、実践していきます。

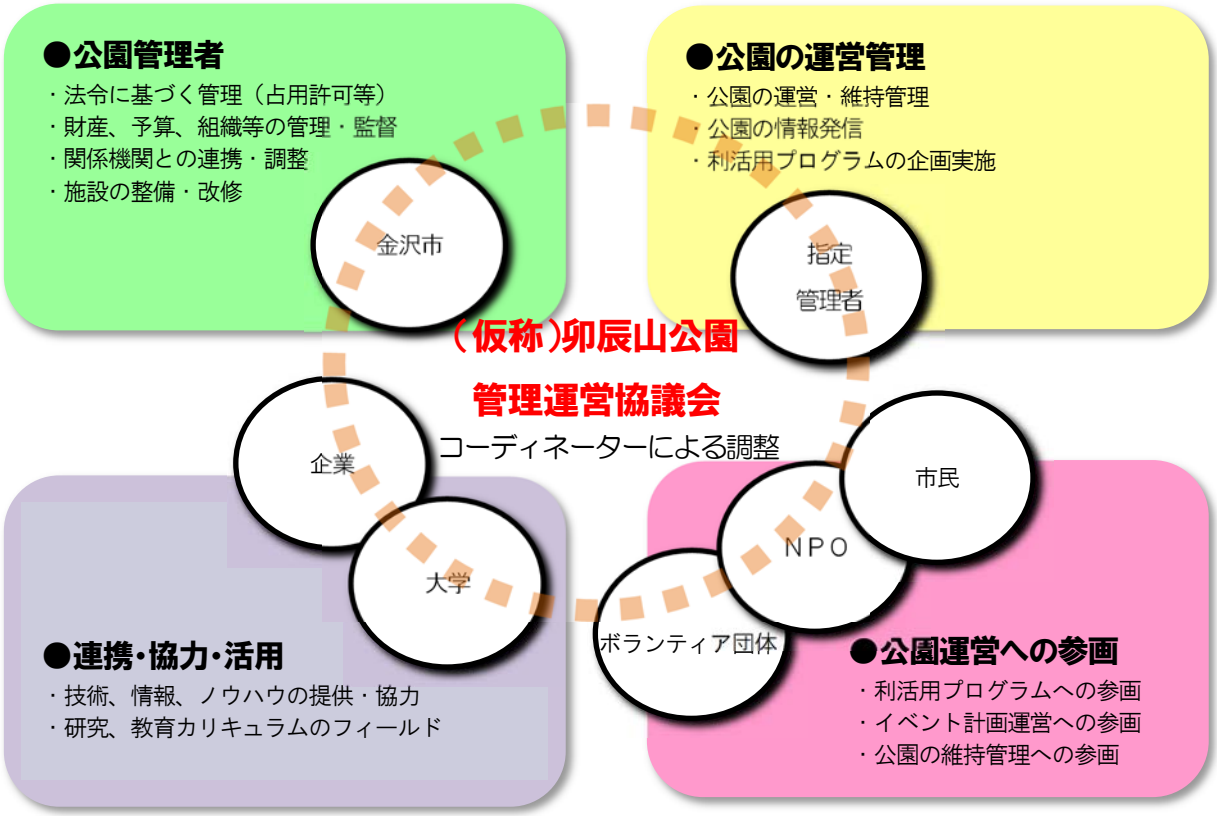
●民間ノウハウの活用

・指定管理者制度の導入やＮＰＯ・民間ノウハウ活用等により効率的・効果的な管理運営を検討していきます。また、カフェの設置・運営などには、都市公園法に規定する「設置管理許可制度」の活用も検討していきます。

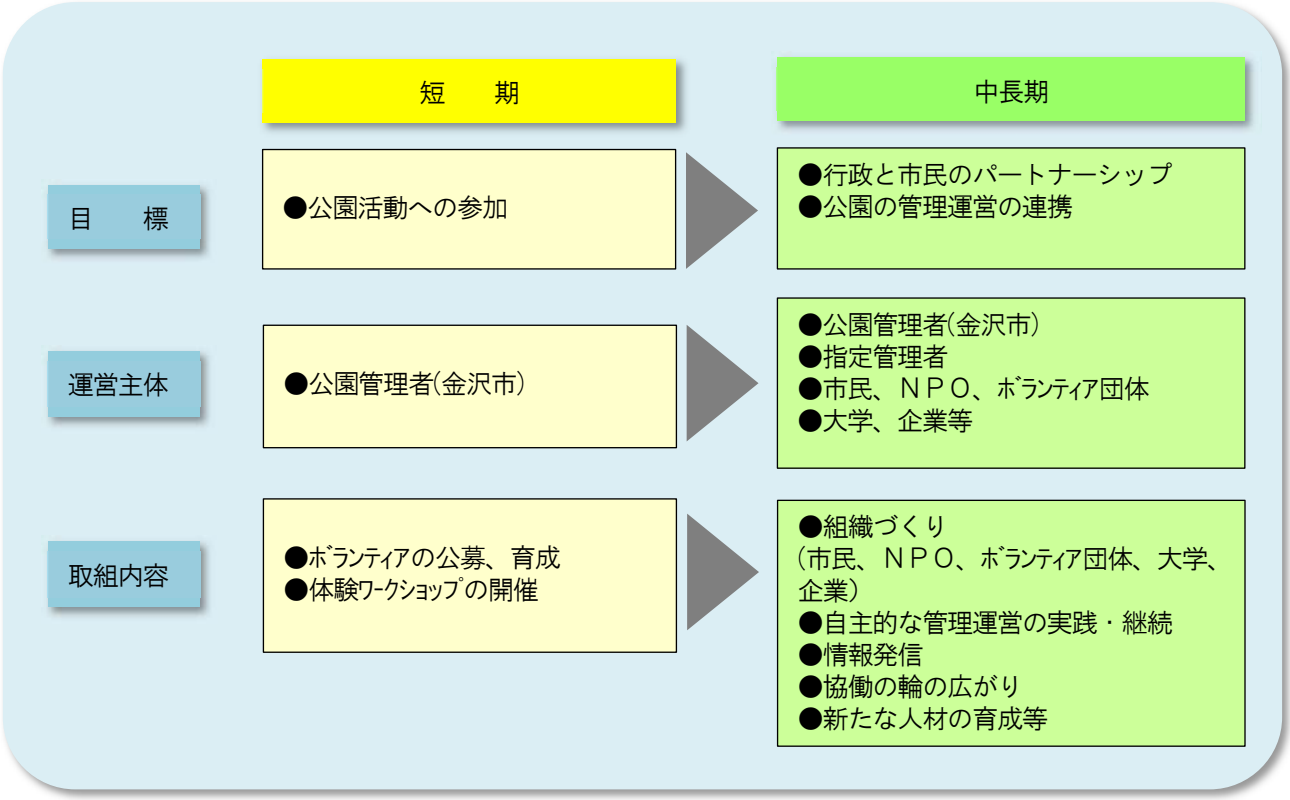
■事業スケジュール

施策の方向性	施策の展開	事業時期		
		前期	中期	後期
持続可能な公園の管理運営体制づくり	●卯辰山公園管理運営協議会（仮称）の設置		□	□
	●民間ノウハウの活用		□	□

パートナーシップによる管理運営体制のイメージ



市民参加の段階的発展のイメージ



卯辰山公園開園１００年魅力向上計画　概要図

歴史文化ゾーン

眺望交流ゾーン

自然体験ゾーン

専光寺東山霊所
うぐいす台
心の道
宇多須神社
ひがし茶屋街
ひがし茶屋休憩館
子来町緑地
子来坂
宝泉寺
秋聲のみち
徳田秋聲記念館
梅ノ橋
歴史のみち
山野草園
花菖蒲園
日暮ケ丘
天神橋
川岸園
帰厚坂緑地
千杵坂
卯辰山三社
卯辰山工芸工房
眺望のみち
月見台
花木園
四百年の森
横空台
望湖台
自然のみち
玉兎ヶ丘
金沢ユースホステル
グラウンドゴルフ場
軽スポーツ広場
（整備中）
運動場
卯辰山相撲場
ふれあい広場
見晴らし台
鈴見町緑地
卯辰山公園健康交流センター千寿閣
常盤町緑地
浅野川
常盤橋

凡　例

- ビジターセンター候補地
- 眺望点
- アプローチルート
- モミジの林創出事業
- 公園緑地等
- 都市計画公園区域

0　100　200　400　500m

7-4 事業スケジュールの検討（再掲）

●：新規施策、○：既存施策の充実

事業時期：前期（H26～28）、中期（H29～31）、後期（H32～35）

（1）ハード関連施策

施策の方向性	施策の展開	事業時期		
		前期	中期	後期
1．歩く・走る・憩う・学ぶバラエティに富んだ散策コースの設定	●散策コース及びサイン設置の基本計画の策定	□		
	○散策コース等の整備		□	
	○公園へのアプローチの改善・修繕		□	
	●石碑等の適正管理の推進			□
2．わかりやすい公園に向けた案内サインの充実	●（再掲）散策コース及びサイン設置の基本計画の策定	□		
	●サイン設置の推進	□	□	
3．卯辰山ならではの花鳥風月を愛でる場の再生整備	○桜ロードの創出	□		
	○モミジの名所づくり	□		
	●次の 100 年森づくり	□	□	□
	○四季折々の花木、山野草の保全		□	□
	●月見の場の再生		□	
	●夜間景観の創出と整備		□	
	○既存緑地の再生・整備	□	□	
4．歩行者にやさしい公園のための施設整備	●園路等のバリアフリー化		□	□
	○既存園路の修繕・改善	□	□	□
	○園路沿いの適切な樹木管理の推進	□	□	□
	●市道卯辰山公園線での歩行者優先の道づくり			□
	●交通環境の整備・充実			□
5．眺望スポットの整備・充実	○代表的な眺望スポットの再整備	□	□	
	●景観面に配慮した適切な樹木管理	□	□	□
	●新たな眺望ポイントの整備	□	□	
	●新たな眺望スポットの整備	□	□	
6．情報発信・交流機能を備えた拠点施設等の整備	●ビジターセンター（交流拠点施設）の整備		□	
	●民間によるカフェ等の飲食機能を備えた施設の設置		□	
	○軽スポーツ広場の整備	□		
7．休憩施設の充実	●四阿（あずまや）、ベンチの整備・充実		□	□
	○トイレの改修・整備		□	□
8．自然環境の保全など生物多様性への配慮	○樹林地の適切な保全、維持管理		□	□
	○竹林の駆除及び郷土種樹木の植樹	□	□	□

（２）ソフト関連施策

施策の方向性	施策の展開	事業時期		
		前期	中期	後期
１．情報提供ツールの作成と情報発信	●歴史文化資源の調査	□		
	●四季折々の魅力や歴史文化を紹介したリーフレット、小冊子等の作成		□	
	●卯辰山公園の魅力を紹介し、スマートフォンにも対応したホームページの提供		□	
２．市民交流プログラムの提供	●多様な体験プログラムの提供		□	□
３．卯辰山歳時記の復活・編集	●卯辰山歳時記の開催		□	□
４．市民の参画・協働の機運醸成と推進	○ボランティア活動の推進	□	□	□
	○公園等里親制度（アドプト制度）の推進	□	□	□
	●パークコーディネーターの育成、配置		□	□
	○クリーンアップ活動の継続・充実	□	□	□

（３）推進体制

施策の方向性	施策の展開	事業時期		
		前期	中期	後期
１．持続可能な公園の管理運営体制づくり	●卯辰山公園管理運営協議会（仮称）の設置		□	□
	●民間ノウハウの活用		□	□

施策の推進に当たっては、企画段階から利用者を始めとする市民の提案を求めるなど市民協働型の施策展開に努めるものとします。

また、いずれの施策も、卯辰山公園を取りまく情勢の変化や新たな市民ニーズ等を踏まえ、必要に応じて進捗状況等を検証するとともに、追加や見直しを行うこととします。

おわりに

金沢市街中心部に隣接し、豊かな緑を纏った卯辰山は、手軽に自然に触れ得る場として長い間に渡って人々に親しまれてきました。日本において、これ程市街地に近接し、人々の生活と一体化した後背山を持つ都市は少なく、江戸藩政期に都市構成の骨格を築きあげた金沢の大きな特徴の一つといえます。

卯辰山は、市街地の背後を飾る緑の屏風として、また四季の機微の変化を映し出す借景の地としての役割を果たすと共に、自然と戯れ親しむ物見遊山の場や、自然が織りなす風情ある花鳥風月の世界を体現できる場も人々に提供してきました。春には花見や野点、夏には花火見物、秋には月見や紅葉狩り、冬には雪見を楽しみ、その折々には花見会、観月会、茶会、句会等が催されるなど、人々の日々の暮らしと密接に関わった多くの生活文化も育て上げてきました。小さな社や多くの石碑の存在に見られるように、人々の信仰の場や記憶の拠り所としての役割も果たしてきました。また市域各所の個性豊かな表情を俯瞰できる多くの眺望の場も提供し、近・現代においてはスポーツやレクリエーションの場としての役割も果たしてきました。時代の変遷とともに歩み、時の推移と痕跡を積み重ねてきた卯辰山は、重層性に満ちた他に類を見ない公園としての魅力を携えています。

こうした重層性に満ちた特有のアイデンティティを尊重しつつ修景し、賑わいのある東山界隈等との散策ネットワークの強化や、眺望を楽しみながらゆったりと過ごせるおしゃれな拠点スペースなどの現代的な魅力が付加されていくならば、市民はもちろん、金沢を訪れる人々をも魅了する卯辰山公園となっていくことは確実と言えます。

今回の計画策定において再確認された理念と基本方針に基づく整備が着実かつ継続的に実行され、歴史と文化に裏打ちされた厚みと奥深さのある自然豊かな卯辰山公園として受け継がれていくことを期待します。

平成２６年３月

卯辰山公園利活用検討委員会　委員長
金沢工業大学環境・建築学部長／教授
森　俊偉

卯辰山公園利活用検討委員会

■委員名簿（敬称略　五十音順）

	氏　名	所属団体・役職等	備考
1	上野　ひとみ	金沢市レクリエーション協会理事	
2	宇佐美　孝	近世史料館専門員	
3	香坂　玲	金沢大学准教授	
4	越石　あき子	ＮＰＯ角間里山みらい	
5	佐野　浩祥	金沢星稜大学講師	
6	鍔　隆弘	金沢美術工芸大学教授	
7	森　俊偉	金沢工業大学 環境・建築学部長/教授	委員長

■検討経過

月　日	項　目
H25. 8. 5	第1回検討委員会　卯辰山公園開園100年魅力向上計画について、現地視察
H25. 8.29	第2回検討委員会　卯辰山公園の現況と課題、基本構想の基本的な考え方について
H25.10.17	第3回検討委員会　基本構想（素案）、基本計画の検討について
H25.12.17～ H26. 1.15	パブリックコメント（意見公募）
H26. 2.20	第4回検討委員会　卯辰山公園開園100年魅力向上計画　報告書（案）について